

GYODA

1

Jan.2017

No.847

市報ぎょうだ CITY PUBLIC RELATIONS



年頭のごあいさつ P.2

新春対談 作家 池井戸潤氏 × 工藤正司市長

街と産業の発展は、自らの強みを知ることから P.3



新春対談

作家 池井戸潤氏 × 市長 工藤正司

街と産業の発展は、自らの強みを知ることから

池井戸潤さん(以下「池井戸」) そうでしたか。当時は、まだあったんですね。市長 ソール(底)がゴムのもので、「こ」というものがあるんだ」と驚いた思い出が、作品の場面と重なりました。行田の風景も登場しますから、発刊以来、多くの方々に「行田市民の物語です」とご紹介しています。

工藤正司市長(以下「市長」) 『陸王』は、ランニングシューズの開発に取り組む老舗足袋メーカー、こはぜ屋と、選手生命を賭けてレースに挑む実業団ランナーたちの物語。行田市が舞台であり、また、私は若い頃に陸上競技をやっていたこともあって、とくに身近に感じました。小学2年生の頃、マラソン大会で優勝したことがあったんですが、そのご褒美が、まさにマラソン足袋だったんです。

行田で「復活」した物語

足袋の街・行田市を舞台にした、池井戸潤さんの『陸王』。伝統産業の復興と挑戦の尊さを描いた小説は、読む人を勇気づけます。執筆にあたり、市を訪問された作家の目から見て、産業振興、地域活性化を目指す上で、今、必要なことは何ですか？ 平成29年をさらなる発展の年にするための、ヒントを伺いました。

『陸王』池井戸潤作 (集英社)



池井戸潤さんの小説で、行田市が舞台となっています。老舗足袋メーカーがランニングシューズの開発に挑む物語。世界的スポーツブランドとのし烈な競争や資金難、素材探しなどに挑戦し続ける主人公の姿が描かれています。ランニング足袋「陸王」や「こはぜ屋」は池井戸さんのオリジナルですが、小説執筆に当たり、市内の足袋メーカーで取材されたそうです。

池井戸 ありがとうございます。実はこの小説は、いったん途絶えかけていたんです。ランニングシューズ開発を思い立つのを、当初は地下足袋メーカーに話したんですが、実際にメーカーの方に話



平成29年

年頭のごあいさつ

行田市長 工藤正司

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことから心から慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、希望にあふれ、幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月の熊本地震をはじめ、8月には台風の相次ぐ上陸による河川の氾濫や土砂崩れ、さらに、10月には鳥取県中部で、未確認の活断層が原因と思われる震度6弱を記録する地震が発生するなど、全国各地で大規模な自然災害が数多く発生した一年でありました。

一方、本市におきましては、地方創生の流れの中で、行田版「総合戦略」に基づく施策をはじめ、7月には、行田商工会議所、南河原商工会及び市内7金融機関と、県内初となる「地方創生に係る包括連携協定」を締結するなど、「行田創生」に向けた取組みを官民一体となつて着実に進めてまいりました。

また、行田を舞台に老舗の足袋メーカーが逆境を乗り越えながら、新規事業であるランニングシューズの開発に奮闘する姿が描かれた、作家 池井戸潤氏の小説「陸王」が大ヒットし、かつて全国シェアの8割を誇った「足袋のまち行田」が再び脚光を浴びる大変喜ばしい出来事がありました。

本年は、こうした好機を逃すことなく、「足袋」に焦点をあてた施策を積極的に展開してまいりたいと考えております。その取組みの一つとして、「行田足袋」ブランドの価値向上と市場拡大を通じて地域経済の活性化を図る「足袋のまち行田」活性化プロジェクト」を官民一体となつて強力に推進してまいります。また、本市が物語の舞台となつていくことから、新たな市の魅力として様々なメディアを通じて情報を発信し、さらに多くの方に行田にお越しただけのよう、経済効果に繋がる観光戦略を展開してまいります。

なお、3月には、秩父鉄道の新駅である「ソシオ流通センター駅」が開業いたします。これにより、利便性の向上はもちろんのこと、新たな住宅建設など、地域活性化の大きな起爆剤となることを期待しております。

今後とも私は、暮らしの安心安全の確保に万全を期すとともに、行田ならではの個性や独自性を活かした取組みなどに積極果敢に挑戦し、持続可能な活力ある「笑顔あふれる元気な行田」の実現に向け、全身全霊を注いでまいります。市民の皆様には、市政に対するより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





を伺ったところ、今は地下足袋の100パーセントが海外生産だと聞かされました。じゃあこの筋はないなと思っただけですが、その後、お隣の羽生市の藍染会社の社長さんから、取引先に足袋屋さんがあることを教えていただき、そこではじめて行田市が足袋の産地だということを知ったんです。それで「じゃあ、足袋屋さんの話にしよう」と。

市長 行田市は、昭和初期には全国シェアの約8割、およそ8千万足の足袋を生産していました。当時は街中からミシンを踏む音が響いていたそうです。取材にも来ていただいたんですね。

池井戸 二度ほど伺いました。小説でいちはん大事なのは、雰囲気が出ているかどうかなんです。足を運ぶとその土地の空気感がつかめるんです。そして、工場で足袋の作り方を教えていただきつつも、実は働いている女性たちの元気の高さを感じるほうが大事だったりする（笑）。明るくて気が強く、ノロノロしている社長でも叱る、そういう女性たちの姿は、作中にも書かせていただきました。

市長 「かかあ天下と空っ風」は上州名物として有名ですが、行田市にも、そういう元気な女性がたくさんいますね。

池井戸 すぐく立派な前方後円墳があったり、きれいな用水が流れていたりしていたのも、印象に残っています。

知られざる強みを知ろう

池井戸 小説には、ある程度のリアリティが必要で。たとえば、苦勞している中小、零細企業の100軒の事例があったとして、そのうちの98軒はたぶん行き詰ってしまっている。その暗い現実のほうに光を当てるのは、実は簡単です。でも「まあ、そうなるだろうな」で

温故知新で伝統を守る

市長 『陸王』には、伝統的な産業である足袋作りを続ける苦勞も描かれています。市内でも、現在は足袋屋さんの数がずいぶん少なくなりました。

池井戸 服飾文化の変化に伴っての、時代の流れでしょうね。



市長 しかし昨年は、行田市郷土博物館が所蔵する『行田の足袋製造用具及び製品』が国の登録有形民俗文化財に登録されるという明るいニュースもありました。

池井戸 私も取材で博物館に行きましたが、大勢の縫い子さんたちが体育館のような空間で一斉に足袋を縫っている写真などは、壮観でした。

市長 ええ、作品の中で描かれたように、後継者難は現実問題だと思います

終わってしまったのは、小説として面白くない。中にはうまく事業をやり遂げる会社もあるのだし、現実の厳しさばかり強調するお話では救いがありません。

市長 そうですね。その残りの2軒になるためには、どんな工夫が必要だと思いますか？

池井戸 そういう会社はきっと、高く評価される何かを、もともと持っているのだと思います。たとえば、独自の技術とか、取引先とか、コストを抑えた優秀な労働力とか。自社の強みを生かす発想の転換さえできれば切り抜けられるんじゃない。自分たちにとっては当たり前ですが、その強みが何なのか、意外とわからない。自分たちから見ると非常に価値のあることだったりするんですが、そういう自利きのできる人がもし行政の中にいたら、復活の鍵になるかもしれません。

市長 そういうことは、往々にしてありますね。自分たちの持っている価値に気づくこと、それは、産業だけでなく地域振興にも大事な観点だと思います。人口減少、少子高齢化が叫ばれる現在、都市間ではすでに競争が始まっていて、街の活性化は急務ですが、市としては『陸王』を契機に、足袋にスポットを当てたプロジェクトも展開中です。池井戸さんの作品は映像化されることが多いですが、もし『陸王』がそうならば、全面的に協力したいと思っています。

Profile プロフィール

池井戸潤 (いけいどじゅん)



が、若い女性職人が埼玉県の伝統工芸士に認定されたり、やはり若い市内の経営者が、ファッションという観点で捉え直した新しい足袋をヨーロッパでPRしたりと、新しい取り組みも行われています。

池井戸 面白いですね。ただこの先、業界単独の努力だけでは、製造数を増やすことはなかなか難しいでしょう。伝統的には、お茶、踊り、祭りの場面で足袋が必要とされていて、そういうことへの関心が薄れると、どうしても足袋を買わないのではなくて、何かと結びつく道具だと思っんです。

市長 確かに、その通りです。

池井戸 たとえば、私はお茶をやっていたので外履き用の足袋と白足袋を持つ

池井戸 ありがとうございます。心強いことです。

市長 行田市には『のぼうの城』(和田竜氏の小説。平成24年に映画化)に登場した忍城や古墳、ギネス世界記録に認定された世界最大の田んぼアート、美しい古代蓮の見える公園もある。こうした風景を、ぜひ映像で全国の方々に見ていただきたいですね。小説の冒頭に登場する、100年前のドイツ製のミシンの音なども、ぜひ登場させてもらいたいと思います。



池井戸 古代蓮は、私はまだ咲いたところを見たことがないので、そうならば楽しみです。文章ではなかなか書ききれませんが、ランナーたちが走る描写などは映像が得意とする部分ですので、見応えがあるでしょうね。

市長 映像で行田を知っていただき、交流人口の拡大を図れたらいいですし、市民の方々にも、あらためてわが街のよさを再確認していただきたいですね。先

池井戸さんのサイン入り著書『陸王』を5名様にプレゼント!

市内在住・在勤・在学の方を対象に、池井戸潤さん直筆のサイン入り著書『陸王』を5人の方にプレゼントします。



《応募方法》

住所、氏名、電話番号を記入の上、1月31日火まで(必着)にはがきまたはEメールでご応募ください。
※1人につき1通分の申し込みのみ
【はがき】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市広報広聴課「新春対談プレゼント」係
【Eメール】rikuoh@city.gyoda.lg.jp
なお、発表は発送をもってかえさせていただきます。

ほど池井戸さんがおっしゃったように、あって当たり前だと思っていた価値に気づくことが、街の活性化には大切なことだと思っんです。そのきっかけを作ってくれた『陸王』に感謝したいと思っます。

市長 市では、寺子屋事業といって、子どもたちに昔の遊びや伝統文化を勉強してもらっているのですが、私は、学校の中でもっと足袋を履いてもらいたいと思っっているんです。行田市の伝統的な産業である足袋作りは、絶対に絶やすことはできない。ですから、職人技を発揮して、小が大をしのぐこはぜ屋の奮闘には、とても勇気をもらいました。古いものを大切にしながら新しいものを作っっていく、その温故知新の感覚を、常に持ったいと思っています。

ていまして、そうした機会があるだけでも、2足の足袋が必要になる。そんなふうには、本来の足袋の使用機会を増やす取り組みができるかというのかもしれない。

1963年岐阜県生まれ。慶應義塾大学卒。『果つる底なき』で江戸川乱歩賞、『鉄の骨』で吉川英治文学新人賞、『下町ロケット』で直木賞を受賞。
主な作品に、半沢直樹シリーズ『オレたちバブル入組』『オレたち花のバブル組』『ロスジェネの逆襲』『銀翼のイカロス』、花咲舞シリーズ『不祥事』、『空飛ぶタイヤ』、『ルーズヴェルト・ゲーム』、『七つの会議』、『民王』、『下町ロケット2 ガウディ計画』などがある。最新刊は『陸王』。

申告相談にお持ちいただくもの

- ・印鑑
- ・平成28年1月から12月までの収支計算の分かる書類
- ・会社などにお勤めの方または公的年金等を受給されている方は、源泉徴収票（原本）
- ・社会保険料、生命保険料、個人年金保険料、介護医療保険料、地震保険料、国民年金保険料、国民健康保険料、介護保険料などの払込証明書
- ・マイナンバーカード（個人番号カード）または通知カードおよび運転免許証などの身分証明書
- ・控除対象配偶者および扶養親族の方のマイナンバーカードまたは通知カードなど個人番号の確認ができるもの



お願いとお知らせ

- ・医療費控除や事業・農業所得などを申告する方は、金額や収支の内訳などの集計を事前に済ませた上でお越しください。
- ・「市民税・県民税申告書」が必要な方は郵送しますのでご連絡ください（申告会場にも申告書は用意してあります）。
- ・市民税・県民税では、次のような制度は原則として期限後の申告では適用が認められません。所得税の確定申告、市民税・県民税の申告のいずれかに必要事項を明記の上、必ず期限内に提出してください。
 - ・住宅借入金等特別税額控除（年末調整で適用を受けている場合は、申告不要）
 - ・上場株式などの配当、源泉徴収選択口座内の株式等の譲渡所得について申告するかどうかの選択
 - ・白色申告者に事業専従者がいる場合の控除
 - ・損失額の繰り越しや、前年以前から繰り越した損失額の控除

▶**問い合わせ** 税務課市民税担当（内線231・232）

社会保障・税番号（マイナンバー）制度が導入されました

社会保障・税・災害対策分野で、行政手続きの効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現することを目的として、社会保障・税番号（マイナンバー）制度が導入されました。平成28年分以降の市民税・県民税の申告書や所得税および復興特別所得税の申告書の提出の際には、マイナンバー（12桁）の記載と、本人確認書類の提示または写しの添付が必要になります。

- ※本人確認（番号確認および身元確認）を行うときに使用する書類の例
 - （例1）マイナンバーカード（番号確認と身元確認）
 - （例2）通知カード（番号確認）＋運転免許証、健康保険の被保険者証など（身元確認）

- ▶**市民税・県民税の申告についての問い合わせ**
税務課市民税担当（内線231・232）
- ▶**所得税の確定申告についての問い合わせ**
行田税務署 ☎556—2121

平成28年分 所得税および消費税の確定申告

行田税務署では、平成28年分の所得税等の確定申告の相談および申告書の受け付けを2月16日(木)から3月15日(水)まで、消費税等は3月31日(金)まで行います。なお、税務署は大変混雑しますので、お早め（午後3時頃まで）にお越しください。
※確定申告会場ではご自身でパソコンを操作し、申

告書を作成していただくことを基本としています。
※確定申告期間前は、通常期の体制で執務を行っているため、申告書作成のための会場が狭くなっています。そのため、期間前に税務署で申告書作成相談を希望される場合は、長時間お待ちいただくことがあります。

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください

「確定申告書等作成コーナー」は、画面の案内に従って、金額などを入力すれば税額などが自動計算され、所得税および復興特別所得税、消費税および地方消費税の確定申告書などを作成できる便利なシステムです。

また、作成したデータは、印刷して書面で提出できる他、e-Tax(国税電子申告・納税システム)を利用して送信することもできます。

日曜日の相談について

行田税務署では、月～金曜日以外でも2月19日と2月26日の日曜日に限り、熊谷税務署と合同で確定申告書用紙の配布、申告相談、確定申告書の收受および納付相談を行います（現金納付の窓口業務は行いません）。

なお、この2日間の申告相談などの会場は熊谷税務署（熊谷市仲町41）です（行田税務署での業務は行いません）。

▶**問い合わせ** 行田税務署 ☎556—2121

平成29年度 市民税・県民税・所得税

申告相談

申告期間は
2月6日(月)から
3月15日(水)まで

市民税・県民税の申告は、前年1年間の所得に対する税額を適正に算出するための課税資料として、申告書の提出をしていただくものです。また、所得税の確定申告も併せて受け付けますので、日程および会場を確認の上、ご利用ください。

市民税・県民税の申告が必要な方

平成29年1月1日現在、本市にお住まいで前年中に所得があった方は、原則申告が必要です。

ただし、次の方は申告不要です。

- ①所得税の確定申告をする方
 - ②給与所得者で勤務先から市に給与支払報告書が提出され、その給与所得以外に所得がない方
 - ③合計所得金額が28万円以下の方
- ※所得のない方や③に該当する方でも、税務関係証明書が必要となる場合や国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の軽減を受ける場合には、申告をする必要があります。

ご注意ください

次のような所得税の確定申告は、市の申告相談ではお受けできません。行田税務署で確定申告をお願いします。

- ・株式などの譲渡に関する申告
- ・繰越損失の申告
- ・青色申告
- ・先物取引に関する申告
- ・過年度分の申告
- ・平成28年中に死亡された方の申告など

平成29年度 市民税・県民税申告相談開催日程

期日	会場	地区	混雑予想
2月6日(月)	太井公民館	西新町、苅里山町、清水町	—
7日(火)		門井町1・2・3丁目、棚田町1・2・3丁目、押上町、深水町	—
8日(水)	持田公民館	持田1・2・3丁目	混雑
9日(木)		持田4・5丁目、大字持田、前谷、駒形1・2丁目	混雑
10日(金)	長野公民館	桜町1・2・3丁目、富士見町1・2丁目	—
13日(月)		大字長野、長野1・2・3・4・5丁目	—
14日(火)		大字佐間、佐間1・2・3丁目	—
15日(水)	中央公民館 第1学習室 （「みらい」内）	旭町、向町、緑町、下忍、堤根、樋上	混雑
16日(木)		埼玉	混雑
17日(金)		野、渡柳、利田	—
19日(日)		全地区	混雑
21日(火)	「行田グリーンアリーナ」 2階研修室	谷郷1・2・3丁目	—
22日(水)		大字谷郷、栄町、斎条、和田	—
23日(木)		上池守、下池守、皿尾、中里、小敷田、白川戸	—
24日(金)		荒木、小見	—
28日(火)	総合福祉会館 「やすらぎの里」 第3研修室	須加、下中条	—
3月1日(水)		北河原	—
2日(木)		酒巻、犬塚、馬見塚	—
3日(金)	太田公民館	中江袋、南河原	—
7日(火)		藤原町1・2・3丁目、若小玉、藤間、関根	—
8日(水)		下須戸、小針、真名板	—
10日(金)	商工センター	大字忍、忍1・2丁目、本丸	混雑
13日(月)		矢場1・2丁目、行田、宮本、中央	—
14日(火)		城西1・2・3丁目	—
15日(水)		城西4・5丁目、天満、城南	—

受付時間
午前9時30分
～午後4時

ご注意ください

- ・対象地区はあくまでも参考です。いずれの会場でも、対象地区以外の方の申告相談も受け付けています。
- ・各会場日程で都合のつかない方は、他の会場へお越しください。
- ・市役所税務課窓口での申告相談は受け付けていません。
- ・申告内容によっては、税務署にご相談していただく場合があります。

平成28年度中学生の「税についての作文」
入賞作品

国税庁と全国納税貯蓄組合共催の中学生の「税についての作文」募集に、行田税務署管内の中学生から5千225編もの応募がありました。市内からは次の生徒たちが入賞しましたので紹介します。

- 埼玉県議会議員賞**
「権利と責任」
長野中学校3年 杉野 彩名
- 全国納税貯蓄組合連合会会長賞**
「感謝の恩返し」
西中学校2年 金野 竹志
- 公益財団法人全国法人会総連合会長賞**
「命を守るための税」
西中学校2年 根岸 玲佳
- 関東信越税理士会埼玉県支部連合会会長賞**
「目的税の利用で観光大国日本に」
長野中学校1年 浦邊 有里菜
- 埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞**
「私の生活と税金」
見沼中学校2年 竹越 彩花
- 行田税務署長賞**
「税金を支えられて」
見沼中学校3年 篠崎 美吹
「税金を使って障害者を助ける」
南河原中学校3年 酒井 彩音
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「ふるさと納税が果たすべき役割」
埼玉中学校2年 岩下 知歩
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「未来のための税金と私たち」
行田中学校3年 熊合ひかる
「期待高まる東京オリンピック」
長野中学校3年 浦邊 拓哉
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「これからの税金の使い道」
忍中学校3年 高科 正樹
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「大切な税金」
忍中学校2年 神田 駿太
- 「税金を支えてもらった健康」**
長野中学校3年 根岸 巨希
- 「税での命」**
西中学校3年 玉手 篤紀
- 行田税務連絡協議会長賞** 佳作
「今ある命」
長野中学校1年 根岸 勇氣
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞** 入選
「気付いた世界」
太田中学校2年 新井 真結
- ▼問い合わせ 行田税務署 ☎5561-2121 (自動音声案内2番を選択)

大雪警報・大雪注意報の基準が変更になりました

近年の少雪地での大雪では、人的被害や建物などの損壊の他、道路の不通や鉄道の運休などの交通障害が広範囲に及び、社会的に大きな影響が生じています。

このことを踏まえて、気象庁では住民や関係機関がより迅速に対応できるよう、大雪警報および大雪注意報の基準を見直し、今冬から運用を開始しました。

▶埼玉県北部(本市を含む)の基準の変更内容

区分	新	旧
警報	12時間降雪の深さ10cm	24時間降雪の深さ30cm
注意報	12時間降雪の深さ5cm	24時間降雪の深さ10cm

※詳細は、気象庁のホームページ
(http://www.jma.go.jp/jma/press/1611/08a/20161108_ooyuki_kijun.html)
をご覧ください。

▶問い合わせ 防災安全課防災担当 (内線282)

ご存じですか 本人通知制度

本人通知制度とは、代理人や第三者の請求により住民票の写しなどを交付したとき、事前に登録した本人にその事実を通知するものです。この制度により、住民票の写しなどの不正取得の早期発見や抑制につながる事が期待されます。

なお、登録有効期限はありませんので、登録した方の住所・氏名・本籍などに変更がない間は、再度登録の手続きは不要です。

- ▶対象 本市の住民基本台帳または戸籍簿に記録のある方
- ▶登録方法 本人確認書類(運転免許証など)を持参の上、市民課窓口で申請してください。
- ▶通知内容 代理人や第三者に交付した年月日、証明書の種別および通数、交付請求者の種別
- ▶注意 通知の対象となるものは、代理人請求や第三者請求ですが、請求理由や請求先によっては、通知しない場合があります。
- ▶問い合わせ 同課市民担当(内線242)

乗用農機具(コンバイン・田植え機・トラクターなど)のナンバー登録はお済みですか

軽自動車税は公道を走るか走らないかに関わらず、対象となる車両を所有していることで課税されます。乗用農機具(大型特殊自動車に分類されるものを除く)をお持ちの場合は、課税客体としての登録が必要です。

購入時には必ず税務課へ届け出を行い、ナンバーを取得してください。また、車両を入れ替えた場合も届け出が必要となります。なお、既に対象となる乗用農機具をお持ちでナンバーを取得していないものがありましたら、ご連絡ください。

▶問い合わせ 同課市民税担当(内線235)

選挙管理委員会 委員 決まる

任期満了に伴う行田市選挙管理委員会の委員と補充員を選出する選挙が、市議会で行われ、それぞれの方々に決定しました。任期は、平成28年12月15日から平成32年12月14日までの4年間です。

また、改選後、初めて開催された選挙管理委員会において、委員長に江森保氏が選出され、委員長職務代理者に森田増雄氏が指名されました。

委員長職務代理者



森田 増雄氏 (新)
(佐間)

委員長



江森 保氏 (新)
(関根)

委員



長谷川 有子氏 (再)
(谷郷)

委員



新井 敏夫氏 (新)
(谷郷)

▼問い合わせ 選挙管理委員会 (内線219)

補充員

横山 道輝氏 (新) (埼玉)
石濱妃代恵氏 (新) (清水町)
望月 昌幸氏 (新) (荒木)

補充員

橋本 好司氏 (新) (城西)

軽自動車やバイクなどの廃車・変更の届け出をお忘れなく

軽自動車・バイクなどにかかる税金は、毎年4月1日現在の所有者(登録名義人)に課税されます。次のようなときは、必ず届け出をしてください。

- ・売買や譲渡により所有者が変わった
- ・行田市を転出した
- ・車両を入れ替えた
- ・所有者が死亡した
- ・車両を廃棄する
- ・車両を盗まれてしまい今は所有していない

車種	届け出に必要なもの	届け出・問い合わせ
原動機付自転車(125cc以下のもの)	名義変更 → 新名義人の印鑑 標識交付証明書 譲渡証明書 廃車 → ナンバープレート 名義人の印鑑 標識交付証明書	税務課市民税担当(内線235)
小型特殊自動車(農耕用トラクターなど)	①検査登録事務所には 廃車 → ナンバープレート ※必要書類は検査 自動車検査証 登録事務所へ問 印鑑など 合わせください。 ②市役所には 名義変更 → 登録事項等証明書 譲渡証明書 新名義人の印鑑 廃車 → 登録事項等証明書 名義人の印鑑	※検査登録事務所と税務課の両方へ届け出が必要です。 ①関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2027 ②税務課市民税担当(内線235)
その他の二輪車(125ccを超えるもの)	名義変更 廃車 住所変更	関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2027 軽自動車検査協会埼玉事務所熊谷支所 ☎050-3816-3112

▶問い合わせ 同課市民税担当(内線235)

20歳の抱負

「責任ある大人に」



実行委員長
佐藤 広崇さん
(西中学校出身)

成人の日を迎え、新たな一歩を踏み出せることをとてもうれしく思います。振り返ってみると、20歳になるまでであったという間でした。

私は今、大学でプログラミングといった情報処理の分野を学んでいる他、サークル活動でオーケストラに参加したり、ゲームやCGの作成をしたりしています。また、中学時代から所属している行田市ジュニア・リーダーズ・クラブのスタッフとしてボランティア活動に携わり、後輩の指導に当たるなどさまざまな活動に参加しながら充実した日々を過ごしています。

20歳になって一番に意識したことは、自分の行動に責任を持たなければいけないということです。これまで、「未成年だから」という理由で大目に見てもらえることがありました。現在は、大人や社会人との関わりも増えてきましたが、その中で「報告・連絡・相談」、「締め切りを守る」など当たり前のことができないと、周りに迷惑を掛けるだけでなく、自分の信用も失ってしまうことに気がきました。今までの自分を振り返ってみると、この「当たり前前のこと」ができていません。「まだ学生だから」という甘えが自分の中にあります。一人の大人として、新たな一歩を踏み出すこの節目を機に自分を見つめ直し、もっと成長していきたいです。

またこの20年間、両親や友人、先生など多くの方々を支えられてきました。本当に感謝しています。これから新たなスタートを切りますが、気を引き締めて日々精進していきたいと思っています。



副実行委員長
上野 素也さん
(長野中学校出身)

「成人するということ」

ニユースを見ると、トランプがアメリカ大統領になるとか、イギリスがEUを離脱するとか、それがどう自分に関係するのかわからないけど、何だか不安になるようなことを報道していて、そのたびに僕を混乱させます。つい最近まで、のほほんと生きてきた自分が、気付いたらもう成人式を迎えようとしています。成人すればお酒が飲めたり、たばこが吸えたり、契約行為に親の同意がいらなくなったり、さまざまな権利が与えられます。自由になるという感覚があります。

しかし、今の自分には成人するという自覚はありません。というのも、成人する上での抱負や希望、自分が思う大人としての能力がないと思うからです。大人の人たちの会話の中に、「大人の大人」にという言葉が聞こえてきます。成人式を間近に控えた今、その「大人の大人」になれているのか。

自分は、小学生のころの自分から特に成長してない気がします。分からないことが多すぎるし、責任なんて取れるのか。結婚、子育て、老後など将来を考えるともうパニックになりそうです。僕は、現代社会で大人としてどう行動していけばいいのでしょうか。前提として自分の能力の低さがありますが、成人を前に自分の不安は増えるばかりです。でも、そんなことを考えても仕方ないので、今まで育ててくれた両親や見守ってくれた方々に感謝して、前向きに生きていこうと思っています。

▼問い合わせ
ひとつくり支援課生涯学習担当
☎556-8319

平成29・30年度
行田市物品売買等の競争入札
参加資格審査申請を受け付け
ます

平成29・30年度の競争入札参加資格審査申請の受け付けを次のとおり実施します。

▼受付日時 2月1日(水)～28日(火) (土・日曜日を除く) 午前9時30分～11時30分および午後1時30分～4時

▼受付場所 市役所B9会議室※郵送不可
▼受付業務 物品売買等(建設資材を含む)、建築物管理

▼申請に関する手引き・申請書の入手方法 手引き・申請書は、市ホームページからダウンロードできます。※1月10日(火)から契約検査課でも配布します。

▼有効期間 平成29年6月1日から2年間
▼その他 手引きを参照の上、申請書類および添付書類を提出してください。なお、平成29・30年度の建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理業務の受け付けは終了しました。

▼問い合わせ 同課契約担当
(内線213・214)

平成28年度埼玉県統計功労者表彰式が行われました

11月25日、さいたま市浦和コミュニティセンターで平成28年度埼玉県統計功労者表彰式が行われ、長年にわたり統計業務に尽力された功績により、次の方々が表彰されました。(順不同)

総務大臣表彰



遠藤 忠男氏
(若小玉)



長島 榮代子氏
(須加)

埼玉県知事表彰(統計功労者表彰式)

関口 數明氏(血尾)

埼玉県統計協会会長表彰

藤野 友子氏(忍)

▼問い合わせ 企画政策課統計担当
(内線310)

事業承継の準備と心構えについてのセミナーを開催します

地方創生包括協定事業およびぎょうだエコノミックガーデニング事業の一環として次のとおりセミナーを開催します。

- ▶日時 1月27日(金)午後3時～5時
- ▶場所 商工センター 403研修室
- ▶内容

- 円滑な事業承継のために
 - ・いつ承継するか(承継のタイミング)
 - ・誰に承継するか(後継者問題)
 - ・何を承継するか(経営と資産の承継)
- 行田市が提供する制度、補助金の紹介
 - ・事業所ホームページ立ち上げ事業補助金
 - ・エコノミックガーデニング事業など

▶講師 富永治さん(中小企業基盤整備機構関東本部事業承継コーディネーター)

▶対象 事業承継を考えている方(こんな経営者の方におすすめです)

- ・後継者が決まっていない
- ・後継者はいるがどこから手をつけていいかわからない
- ・事業承継をM&Aで解決したい
- ・廃業はしたくないが何か方法はあるのか
- ・事業承継の全体像を知りたい

▶主催 行田市、行田商工会議所、南河原商工会、熊谷商工信用組合

▶後援 中小企業基盤整備機構関東本部

▶申し込み・問い合わせ 直接、電話、FAXのいずれかの方法で1月19日(木)までに商工観光課産業振興担当(内線384)【FAX】553-5063

NPO法人CILひこうせんが「元気な商店街応援事業表彰」を受賞しました

12月5日、知事公館で「平成28年度元気な商店街応援事業表彰式」が行われ、NPO法人CILひこうせんが埼玉県知事より表彰されました。



上田県知事から表彰状を受け取る
NPO法人CILひこうせんの皆様

この賞は、商店街を活動の場にした優れた活性化の取り組みを表彰するもので、中心商店街の店舗などをさまざまなアートで彩る「忍町アートギャラリー」を企画運営した同法人の取り組みが高く評価されました。

▼問い合わせ 商工観光課産業振興担当(内線384)

竹井好行さん・君江さん夫妻が埼玉農業大賞(地域貢献部門)を受賞しました

11月20日、しらこぼと水上公園で第7回埼玉農業大賞表彰式が行われ、埼玉地区で農業を営む竹井好行さん・君江さん夫妻が埼玉農業大賞の地域貢献部門で見事「大賞」を受賞されました。



上田県知事から表彰状を受け取る
竹井さんご夫妻

この賞は、革新的な農業経営に取り組み、本県農業の振興や地域活性化に貢献された農業者を顕彰するものです。竹井さん夫妻は、新規就農者にとっての課題である農地確保から販路までの支援を行ったことなどが評価され、このたびの受賞となりました。

▶問い合わせ 農政課農政担当(内線387)

▼問い合わせ 福祉課トータル
サポート推進担当(内線285)



杉山 義成氏

**厚生労働大臣から
表彰されました**
多年にわたり戦没者の顕彰などの援護事業に貢献された功績により、行田市遺族会会長の杉山義成氏(須加)が、厚生労働大臣から表彰されました。

ご利用ください 就学援助費

経済的な理由により就学が困難な小・中学校児童・生徒の保護者の方に、就学費用の一部を援助しています。お困りの方は、ご相談ください。

▶対象

- ・市民税が非課税の世帯
- ・児童扶養手当(児童手当とは異なります)を受給している世帯
- ・その他、経済的に就学援助費が必要と認められる世帯など

▶援助内容 学用品費、給食費、修学旅行費、医療費など

※詳細は市ホームページをご覧ください。

▶相談・申請・問い合わせ 各学校または教育総務課財務施設担当 ☎ 556-8311

ご存じですか 教育振興奨励金

市では、市内で教育振興に沿った活動を行っている個人や団体の皆さんを対象に奨励金を交付しています。

▶申請期間 2月1日(水)～17日(金)

▶対象

- ①学校教育関係(学校教育の充実、向上のための調査および研究に関する事業)
- ②社会教育・社会体育関係(社会教育、スポーツ活動および青少年の非行化防止活動の充実・向上のための事業)

▶交付限度額

- ①学校教育関係
【個人の場合】…50,000円
【団体の場合】…100,000円
- ②社会教育・社会体育関係
【個人の場合】…50,000円
【団体の場合】…200,000円

▶申し込み・問い合わせ 教育総務課総務担当 ☎ 556-8311

平成29年度 小・中学校の きらきらサポーターを募集します

市では、小・中学校の特別支援学級などで、児童・生徒に対し学校生活上の補助を行う「きらきらサポーター」を募集します。資格は特に問いません。特別支援教育に理解のある方、子供たちに関わる仕事の経験がある方をはじめ、多くの方の応募をお待ちしています。

▶勤務時間 原則、勤務校の始業時刻から終業時刻まで(夏休みや冬休みなど長期休業日は勤務なし)

▶勤務場所 市内小・中学校

▶賃金 時給860円(交通費などの支給はありません)

▶選考方法 書類審査および面接(2月上旬～中旬)

▶申し込み 学校教育課で配布している指定の履歴書(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入の上、1月25日(水)までに持参または郵送により提出してください。【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会学校教育課

▶問い合わせ 同課指導担当 ☎ 556-8316

入学準備金貸付制度について

市では、高校・大学などへ入学を希望する方の保護者に対して、経済的負担の軽減を図るため、入学準備金の貸し付けを行っています。

▶申請期間 2月1日(水)～20日(月)

▶貸付金額

- ①大学、短大および専門課程を置く専修学校の場合…300,000円
- ②高校、高専および高等課程を置く専修学校の場合…200,000円

▶対象 市内に6カ月以上居住し、市税を完納している方

▶申請時に添付する書類

- ・在学または出身学校長が大学・高校などの長に提出する調査書の写し
- ・家庭調書
- ・住民票の写し(世帯全員)
- ・承諾書

▶貸し付け決定後に提出する書類

- ・借用書※連帯保証人が必要です。
- ・入学許可書または合格通知書

▶返還方法 3カ月を据え置き、大学については50カ月以内、高校については35カ月以内で毎月の分割払い

▶申し込み・問い合わせ 教育総務課総務担当 ☎ 556-8311

小・中学校の指定学校変更について

市では小・中学校の通学区域について規則で定めていますが、次に該当するときは保護者の申し立てにより、指定した就学校を変更することができる場合があります。

▶区域外就学(指定学校変更)許可基準

願出の種類	該当学年	許可基準	許可期限	添付書類
最終学年	小学6年生 中学3年生	最終学年途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	卒業まで	—
学期途中	小学1～5年生 中学1～2年生	学期途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	学期末まで	—
住宅新築および転居予定	全学年	自宅の新築およびマンション・アパートの入居などによる転入・転居予定があり、通学に支障がない場合	入居予定日まで	次のいずれか ・建築確認書 ・工事請負契約書 ・売買契約書 ・賃貸契約書
両親共働きなど留守家庭	全学年	保護者が共働きなどにより留守となる家庭で、祖父母などの家から就学する場合、その通学区	その年度の3月31日まで(毎年申請が必要)	勤務証明書または営業証明書
身体的および精神的理由	全学年	身体的理由により、指定学区外の学校に就学する場合 登校拒否が客観的に予想される場合	証明書または意見書内容に基づき許可期限を決定	医師の証明書(身体的理由) 学校長の意見書(精神的理由)
家庭の事情により、住所異動ができない者	全学年	市内に居住していることが証明され、学区内の学校へ就学する場合	住民登録が行われるまで	賃貸契約書または民生委員・児童委員が記載した居住証明書
特別支援学級に入級する者	全学年	就学指定校に該当する特別支援学級がない場合	卒業まで	—
地域の事情	全学年	教育委員会が、指定校の変更を認めている地域(許容地域)	卒業まで	—

▶指定学校を変更することができる場合の手続き

平成29年度に入学する方については、2月17日(金)までに指定学校変更申立書を教育総務課へ提出してください。教育委員会による審査後、変更承諾書を交付します(その他の方については、随時受け付けます)。

▶相談・申請・問い合わせ 同課総務担当 ☎ 556-8311

消防協力者に感謝状を贈呈



左から、坂木輝男さん、坂木奈美子さん、杉山消防長、亀井悦美さん、亀井大嗣さん

11月22日に消防本部で消防協力者の表彰が行われ、坂木輝男さん・奈美子さん(荒木)、亀井悦美さん・大嗣さん(谷郷)に杉山消防長から感謝状と記念品が贈られました。

坂木さん夫妻は9月17日午前7時ごろ、荒地内の見沼代用水で流されていた男性を発見、通報するとともに協力し救出しました。亀井さん親子は9月23日午後9時過ぎ、谷郷地内の酒巻導水路内で転落し流されていた女性を迅速に救出し、救急隊に引き継ぎました。いずれも的確な状況判断と迅速な対応が尊い命を守り、勇気ある行動は賞賛に値するものであることから感謝状を贈ることとなりました。

▶問い合わせ 消防本部総務課 ☎ 550-2119

第68回埼玉県消防協会定例表彰式



公益財団法人埼玉県消防協会坂田秋雄会長から表彰を受ける高野英男消防団長

10月27日、さいたま市民会館うらわホールで第68回埼玉県消防協会定例表彰式が行われ、行田市消防団が消防団活性化事業特別表彰を受けました。

これは、今年度消防団員が増員した団体に贈られたものです。このたび、県内で5団体が受章対象となり、5団体を代表して高野英男消防団長が受領しました。

今後も、消防団が地域防災の中心となり、さらなる市民の安心安全に寄与していきます。

▶問い合わせ 消防本部総務課 ☎ 550-2119

西部地区

番号	氏名	担当地区等	電話
1	田口 修	菅谷(埼玉トヨタ南側水路より北側)	554-7778
2	川内 正子	菅谷(埼玉トヨタ南側水路より南側)	556-8969
3	清水 繁子	一持田(国道125号線より北側)	553-0965
4	菅野 邦男	一持田(国道125号線より南側)、県営持田団地	555-1904
5	西内喜美子	二持田第一	556-5097
6	北川 捷	持田五丁目	553-0268
7	園部 貞雄	持田長町	553-0711
8	池田 脩	持田菊野台	554-9077
9	服部 時子	持田砂原(三丁目32、四丁目1、4~13、18~21)	554-6721
10	田口 秀夫	持田砂原(二丁目18、三丁目28~31、四丁目2~3)	553-1621
11	※	三井砂原	
12	中田 英夫	持田西	556-3004
13	○三村しず子	三持田東部、三持田大宮口	554-7599
14	平塚 英子	三持田西部	554-3748
15	○本山 慶子	前谷	554-5676
16	和泉みち子	棚田町一丁目(新幹線より南側)	554-8865
17	○増田 實	棚田町一丁目(新幹線より北側)、棚田町二丁目	554-2735
18	野口 広子	門井町一丁目、ローヤルシティ行田	554-2759
19	中川由美子	門井町二丁目	556-2615
20	中村 晴雄	第三門井(1~15)	554-3394
21	松本 一男	第三門井(16~27)	553-2811
22	長島 敬二	押上町(南大通より北側)	554-7998
23	小川美穂子	押上町(南大通より南側)、門井団地	556-3817
24	小宮 武	西新町(7班~12班、14班~18班)	554-3475
25	○木暮 要	西新町(1班~6班、13班)	556-6737
26	新井 幹幸	棚田町三丁目	556-5615
27	福島 和枝	深水町	553-1510
28	上田 恵司	沓里山町	554-4525
29	大木 庸子	清水町(1~3番地)	554-9679
30	菅谷 光子	清水町(4~14番地)	554-5810
31	吉野香代美	(主任児童委員)	553-1041
32	○堀内 由紀	(主任児童委員)	577-5716

※三井砂原地区については、後任者が決まるまで中田英夫委員へご連絡ください。

▶問い合わせ 福祉課トータルサポート推進担当(内線267・285)

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の受賞を工藤市長に報告

12月8日、行田市民生委員・児童委員連合会の正副会長は、同連合会が平成28年度の社会福祉功労団体として「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受賞した報告に、市役所を訪問しました。

このたびの受賞は、同連合会が長年にわたり、地域福祉の進進に寄与した功績が認められたものです。



工藤市長に受賞報告をした行田市民生委員・児童委員連合会の正副会長の皆さん

▶問い合わせ 福祉課トータルサポート推進担当(内線267・285)

南部地区

番号	氏名	担当地区等	電話
1	加相 和子	大町、一佐間	556-2978
2	島田ユミ子	二佐間(一丁目3、5~9、13~15、二丁目1)	556-7765
3	小田嶋美和子	二佐間(一丁目16~20、26~30)	554-5789
4	山崎 孝子	神明(二丁目2~11)	553-5055
5	井桁 宏治	神明(二丁目12~19)	556-4291
6	清岡美代子	三間(三丁目8~10、13~27)	553-1514
7	福田 耕司	三間(三丁目1~7、11、12、大字佐間)	555-0271
8	山口 尚美	緑町	554-9251
9	○大村佐知子	向町(1、5、6、16、17、22、23、29)、一向、行田10、天満1	556-5235
10	多田 邑枝	向町(上記以外、二向)	554-0543
11	塚田 民子	旭町(1~8)	556-8534
12	清水 京子	旭町(9~16)	556-2859
13	関口 順子	富士山東・西、上埼玉	559-0979
14	本間 義廣	百塚	559-0170
15	○五十嵐次雄	片原第一、第二、下埼玉	559-4435
16	長沢 邦夫	片原第三、杉原	559-4452
17	大山 隆	利田、渡柳上・下	559-0660
18	○早瀬美恵子	野原、上手、谷端	559-1472
19	古山 義信	野中、宿	559-4590
20	○小林 孝次	下忍	553-0722
21	柴崎 和子	堤根	554-4724
22	小河原精子	樋上、下忍団地	556-0737
23	中澤左衛子	(主任児童委員)	552-1110
24	加藤 恵子	(主任児童委員)	559-1031

中央地区

番号	氏名	担当地区等	電話
1	○石川 法男	中央、エクセル行田中央	556-2934
2	根岸 君枝	宮本	556-3317
3	高橋 一代	北谷区東町、北町、南町、蓮華寺	555-2336
4	藤野 友子	二北谷、六ツ門、帯廓	554-6460
5	栗原 豊子	本丸(本丸1、2、8~17、18の一部)	556-2415
6	高橋 恵子	一内、二内行田、元町	556-1972
7	○橋本 幸子	三内行田、大手町	556-3303
8	○大須賀多美子	一天満、二天満	556-3609
9	松下 道子	矢場一丁目の一部、矢場二丁目	554-4690
10	○岩崎 直美	田町、上荒井	556-7878
11	沼井 秀雄	成田(本丸3~7、18~23、16の一部)	556-7700
12	○原田 充義	城西二丁目	556-3000
13	平岩 満	城南	556-8231
14	井桁千鶴子	駒形、南駒形	556-8073
15	関本 俊之	西駒形	556-1752
16	○大河原 宏	二持田第二(城西五丁目1~4、大字持田)	556-4641
17	吉竹 貞夫	二持田第二(城西五丁目5~10、持田1丁目5~9)	554-0355
18	○越谷 明	二持田第二(城西三丁目)、蔵場	553-0347
19	○岡田 直子	下町、二本町	555-3200
20	遠藤 優子	一本町、新町、八幡町	553-0907
21	○松岡 規子	矢場一丁目の一部	556-2518
22	瀧田 昭子	(主任児童委員)	556-2201
23	○見澤はるみ	(主任児童委員)	554-2347

新しい民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介します

12月1日付けで、民生委員・児童委員145人、主任児童委員11人の方が、厚生労働大臣および埼玉県知事から委嘱を受けました。

今回、委嘱を受けた方々は、平成31年11月30日までの3年間、地域福祉の推進者として活躍していただきます。

※○印は新任の方

東部地区

番号	氏名	担当地区等	電話
1	田沼 正子	一桜	555-3115
2	須田 敏雄	二桜(秩父鉄道線路より南側)	556-7070
3	野澤 稔	二桜(秩父鉄道線路より北側)	554-2966
4	西田 浩子	三桜南部	556-7683
5	○内田 杏子	三桜北部(主要地方道佐野・行田線西側)	555-1757
6	○横田 妙子	三桜北部(主要地方道佐野・行田線東側)	555-1802
7	小林 定春	桜ヶ丘(主要地方道佐野・行田線西側)、長野住宅	556-0602
8	座間 文子	桜ヶ丘(主要地方道佐野・行田線東側)	554-9194
9	根岸 玉江	富士見東部	556-5873
10	大庭千恵子	富士見中央	554-3375
11	宮内 裕子	富士見西部	553-1894
12	○中村 信子	富士見北部	554-6825
13	○桐ヶ谷栄子	橋場1~3組	553-0575
14	○眞下ゆり子	橋場4~6組	554-6293
15	大谷 春美	田幡	556-4894
16	山口恵美子	林	555-2078
17	○竹山 紀子	中斉(長野二丁目8~12、17~26、28、29)	553-2427
18	関田 弘子	中斉(長野二丁目27、30、三丁目1~8、13~16)	555-2095
19	○鈴木 輝夫	中斉(長野三丁目9~12、17~31)	090-6040-2876
20	○山城 眞弓	堀の内、つるまき	559-1146
21	○石井 道子	万願	559-1928
22	齋藤 正雄	白山、大下、新田	559-0824
23	遠藤 初枝	藤原町東部	554-5563
24	大澤 良子	藤原町西部	556-0266
25	○齋藤雄次郎	藤原町中央	555-3828
26	小倉佐江子	藤原町南部	553-1199
27	藤井さなえ	若小玉勝呂(間之道、勝呂団地)	554-3660
28	矢萩とよ子	若小玉勝呂(上一組、上二組)	552-0431
29	金子 彰	若小玉中央	554-1855
30	須永 幸子	若小玉南部	554-7350
31	○横川 忍	若小玉六本木	555-2920
32	○松本幸太郎	下須戸(上組、元組、東組、大島)	559-3256
33	角田 禮子	下須戸(中郷、須戸橋、間道、新田、寺浦、刈込)	559-0181
34	○田島 均	小針(県道上新郷埼玉線より東側)	559-3786
35	酒井 昌美	小針(県道上新郷埼玉線より西側)	556-6897
36	○大上 寛治	藤間、関根、真名板東	559-3115
37	藤間友美子	真名板(1番~3番、4番東地区)	559-3932
38	岡村 要次	真名板(4番三ツ家、5番、6番)	559-3650
39	○青木 敦子	(主任児童委員)	553-7354
40	鈴木 幸江	(主任児童委員)	554-4631

北部地区

番号	氏名	担当地区等	電話
1	小澤 三郎	一谷郷	554-2752
2	中村 賢三	柳坪	555-1358
3	西山カサ枝	東台	554-3663
4	○青木 洋一	二谷郷東第一	556-1854
5	関 裕江	二谷郷新田 西・北部	554-4005
6	○滝田真佐美	二谷郷新田 東部	554-4817
7	島村 雅子	三谷郷(北部、薬師堂北側道路より北側)	554-0280
8	佐藤 良子	三谷郷(南部、薬師堂北側道路より南側)	554-7741
9	田代 都	二谷郷東第二	553-0320
10	○新島 初芳	飯倉、栄町	554-4765
11	小巻 昌子	東栄	554-9148
12	細井 順子	小橋団地	553-5144
13	長谷川敏江	春日	556-3044
14	茂木奈賀子	二斎条	557-1827
15	堀口よし子	一斎条、斎条団地	557-1302
16	○長谷川 清	一和田・二和田	554-5086
17	馬場 充子	上池守、下池守	556-5746
18	河野 貴子	中里、皿尾、小敷田	556-2967
19	○稲葉 誠一	荒木1区、2区	559-0825
20	○増田 時枝	荒木3区、9区(白川戸)	557-3531
21	田次 洋子	荒木4区、5区、荒木団地	557-0186
22	田熊 誠	荒木上宿、6区	557-1006
23	野口 修次	荒木7区、8区(小見)	554-2443
24	小巻 良子	須加1区~4区(下中条)	557-2461
25	園部たま江	須加5区~8区	557-2963
26	○蓮 早苗	須加9区~12区	557-2489
27	○手嶋 弘一	上、久保、里前、天袋、立野	557-0629
28	正田 昭一	北河原新田、酒巻上・下	557-0750
29	角田 博	一区	557-2585
30	今村喜久江	在家、中江袋の一部(北部)	557-0751
31	○島村 仁子	二区	557-0309
32	○山本喜久治	三区南	557-0232
33	田中 泰子	三区北	557-0525
34	細井 一江	犬塚	557-1335
35	木元 健治	馬見塚、中江袋の一部(南部)	557-0367
36	○大園 陽子	(主任児童委員)	556-1846
37	山口 直美	(主任児童委員)	557-5025
38	野口佐知子	(主任児童委員)	557-1853

身体測定&からだバランス体験講座 ～フィットネスクラブ連携トライアル事業～

フィットネスクラブの協力により開催される「身体測定&からだバランス体験講座」です。体組成計を使って体力年齢などを測定したり、健康づくりや体力づくりのためのポイントを教わったりすることができます。

フィットネスクラブ一覧

施設名	スポーツフィールド行田	コナミスポーツクラブ行田
所在地	緑町8-8	持田1-4-56
電話	☎553-1666	☎555-3541
日時	<全3日間> 1日目は次の①～④の中から希望する日を選択 2日目および3日目は同月中の希望する日に参加できます。 ①2月1日(水)午前10時10分～11時 ②2月2日(木)午後1時30分～2時20分 ③2月4日(土)午後7時～7時50分 ④2月5日(日)午後1時30分～2時20分	次の①～③の講座の中から希望する講座を選択 講座①：1月24日(火) 午後7時～9時 講座②：1月26日(木) 午後1時15分～2時30分 講座③：1月31日(火) 午前11時～午後1時
講座内容	1日目：からだ測定、施設利用 2日目および3日目：軽運動、筋力アップ、ヨガ、プールなど	講座①「ボディバランス45」 ・筋力、柔軟性、バランスの向上 講座②「ステップアップ・ロコモフィット」(シニア向け) ・下半身筋力やバランストレーニング 講座③「ボディバランス30」 ・筋力、柔軟性、バランスの向上
定員	20人(先着順) ※①～④各5人まで	15人(先着順) ※各講座5人まで
申し込み	1月15日(日)午前10時から直接または電話で当該施設	1月16日(月)午前10時から直接または電話で当該施設

- ▶対象 市内在住の20歳以上の方で、医師らから運動制限を受けていない方
- ▶参加費 無料
- ▶その他 一施設につき一度のみ利用となります。講座内容は、参加者や施設などの状況により変更の場合あり。
- ▶問い合わせ 当該施設または保健センター ☎553-0053

第2次行田市健康増進・食育推進計画(案)に対する意見を募集します

市では、健康増進法および食育基本法に基づき、健康増進と食育を併せて一体的に定めた計画の策定を進めています。

このたび、計画の素案がまとまりましたので、市民の皆さんから広く意見を募集します。

- ▶意見募集期間 1月20日(金)まで
- ▶閲覧場所 保健センター、市政情報コーナー、南河原支所 ※市ホームページからも閲覧可。
- ▶提出方法 住所、氏名、電話番号を明記(様式自由)の上、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。
【持参・郵送】〒361-0023 行田市長野2-3-17 行田市保健センター
【FAX】555-2551
【Eメール】hoken-s@city.gyoda.lg.jp
- ▶意見の公表 提出された意見は、個人を特定できないように編集し、概要を公表します。また、意見に基づいて修正した場合は、その内容を公表します。なお、個別には回答しません。
- ▶その他 口頭での受け付けはできません。
- ▶問い合わせ 同センター ☎553-0053



オレンジカフェ行田 ～認知症に関わる方(本人、家族、支援者など)の集い～

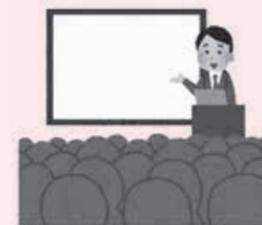
認知症の方や家族、地域の方、医療介護の専門職、ボランティアなどどなたでも気軽に参加できる集いの場所です。みんなで楽しい時間を過ごしませんか。

- ▶日時 1月25日(水)午前10時～11時30分
- ▶場所 ソレアド行田(門井町1-32-1)
- ▶対象 市内在住の認知症の方やその家族、地域の方、専門職の方など
- ▶参加費 100円
- ▶その他 事前申し込みは不要です。
- ▶問い合わせ 地域包括支援センター緑風苑 ☎557-3611
- ▶記事に関する問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

平成28年度介護予防講演会

笑うことは免疫力を高め、脳の若返り、記憶力を増進させ、認知症の予防や健康の増進につながるともいわれています。住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていけるよう、暮らしの中の笑いについて考えてみませんか。

- ▶日時 2月8日(水)午後2時開演(午後1時30分から受け付け)
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 【第1部】
藤井敬三さん(NPO法人シニア大樂理事長)による講演「笑ってもっと元気に～笑いの健康学～」
【第2部】
長嶋道枝さん(行政書士・社会労務士)による講演「事例でわかる！成年後見制度」
- ▶対象 65歳以上の方および高齢者の支援活動に関わっている方
- ▶定員 400人
- ▶入場料 無料
- ▶その他 駐車場に限りがありますので、乗り合わせてお越しください。
- ▶問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)



認知症サポーター養成講座を受講してみませんか

高齢になるほど発症率が高くなるといわれる認知症。高齢化の進展により認知症の方は増加すると予想されています。認知症の方とその家族の住み慣れた地域での生活を支援し、また認知症を早期発見・治療するためにも、多くの方に認知症について正しく理解していただくことが必要です。

認知症サポーター養成講座を受講することで、認知症に対する基本的な知識、認知症の方への適切な対応方法、相談機関などを学ぶことができます。認知症は決して他人事ではなく身近な病気です。認知症について正しく学び、地域で支えるサポーターになってみませんか。

- ▶日時 ①1月18日(水) ②2月8日(水)
いずれも午後1時30分～3時
- ▶場所 ①ソレアド行田(門井町1-32-1)
②老人福祉センター大堰永寿荘
- ▶定員 各20人
- ▶受講料 無料
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶その他 受講終了後にはサポーターの証として、「オレンジリング」と「埼玉県認知症サポーター証」を差し上げます。
- ▶申し込み いずれも前日までに直接または電話で地域包括支援センター緑風苑 ☎557-3611
- ▶問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

はつらつ教室に参加してみませんか

今は元気だから介護予防なんて必要ないと思いませんか。生き生きと楽しく暮らしていけるよう、元気なときから予防しましょう。

手軽に目指せ！健康長寿

口をきれいに保つことで病気を防ぎ、健康長寿を目指しましょう。

日時	場所
1月17日(火) 午前10時	忍・行田公民館

今から始める！脳活講座

脳はたくさん使うと活性化されます。楽しみながら認知症を予防しましょう。

日時	場所
1月18日(水) 午前10時	太田公民館

- ▶対象 市内在住の65歳以上の方
- ▶問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

郷土博物館連続講座 ～史料が語る行田の歴史2～

郷土博物館学芸員らが講師となり、専門分野や関心のある分野から行田の歴史を語ります。

▶日時・テーマ

回	日 時	テーマ
1	1月29日(日) 午後2時	近世忍領の河岸場と舟運
2	2月12日(日) 午後2時	忍藩主松平家臣の武芸
3	2月26日(日) 午後2時	人物埴輪の頭部表現
4	3月12日(日) 午後2時	近世行田市域の田畑のかたちと農法～低湿地・島畑～

▶場 所 郷土博物館講座室

▶定 員 80人(先着順)

▶受 講 料 無料

▶申し込み・問い合わせ 電話で同館 ☎554—5911

工事のため交通規制を行います

市では、近年の局地的な豪雨により浸水被害が多発していることから、貯留施設(函渠)の整備を行い河川への雨水流出を低減し、都市浸水被害の軽減を図る工事を実施します。

工事期間中は、交通規制(終日車両通行止め)を行います。車両通行の際は工事案内看板並びに誘導員の指示に従い、迂回路をご利用ください。地域の皆さんには大変ご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

▶工事期間

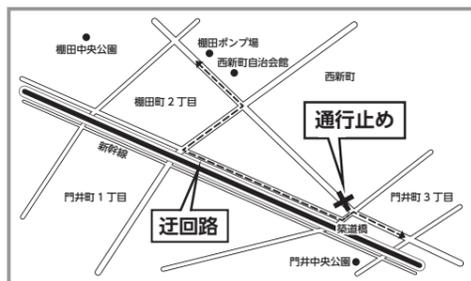
1月中旬～3月下旬(予定)

▶工事箇所

門井町一丁目地内(右図参照)

▶問い合わせ

道路治水課治水担当(内線5716)



博学連携展示 むかしのくらし



小学3年生の学習に連動して博学連携展示「むかしのくらし」を開催します。展示では明治から昭和初期に使われた道具や懐かしい行田の生活を紹介します。

体験コーナーでは、お手玉やあやとり、けん玉にメンコ、昔の子供たちが遊んでいたおもちゃなどを体験できます。

▶期 間 2月4日(土)～4月2日(日)
※3月20日を除く月曜日、2月24日(金)、3月21日(火)・24日(金)は休館

▶開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

▶場 所 郷土博物館企画展示室

▶入 館 料 【一般】200円

【大学・高校生】100円

【小・中学生】50円

※いずれも団体割引あり

▶問い合わせ 同館 ☎554—5911

行田市国民健康保険に加入している方へ 特定健診に係る診療情報提供事業 を実施しています

市では、特定健診の受診率向上のため「特定健診に係る診療情報提供事業」を実施しています。

この事業は、医療機関に定期的に通院しているなどの理由で特定健診を受診していない方が、かかりつけ医で特定健診と同様の検査をしている場合、本人の同意をいただいた上で、医療機関からその診療情報を提供していただくことにより、特定健診を受診したものとみなすものです。

対象者には既に通知を発送していますが、通知が届いていなくても特定健診を未受診で、検査結果の提供にご協力いただける方は、医療機関に記入していただく書類を送付しますので、保険年金課までご連絡ください。

▶実施期間 2月28日(火)まで

▶対 象 行田市国民健康保険特定健診の対象者で、現時点で未受診の方

▶問い合わせ 保険年金課国保担当(内線271～273)

害虫駆除・用水の安定供給のために 関根落・旧忍川の野焼きを実施します

地元農家および元荒川上流土地改良区では、関根落・旧忍川の堤防内の雑草やアシなどの野焼きを次のとおり実施します。炎や煙が発生しますが、火災ではありません。また、風向きによって灰が降る可能性がありますので、洗濯物を干す場合はご注意ください。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

▶日時・場所

【関根落(真名板地内)】

1月22日(日)正午

【旧忍川(小針地内)】

2月5日(日)午前9時30分

【旧忍川(埼玉地内)】

2月19日(日)午前9時30分

【旧忍川(長野地内)】

3月5日(日)午前9時30分

※各日とも、天候により順延となる場合があります。

▶そ の 他 野焼きは法令や条例により禁止されていますが、この野焼きは「農業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却」として認められています。

▶問い合わせ 同土地改良区 ☎556—3135



野焼き(イメージ)

フードドライブを実施します

フードドライブとは、家庭で余っている飲食品を持ち寄り寄贈してもらい、生活に困窮している方や福祉施設、フードバンクなどに無償で提供する活動です。皆様のご協力をお願いします。

▶期 間 2月8日(水)～14日(火)※ただし、11日(土)・12日(日)を除く

▶受付時間 午前10時～午後3時

▶受付場所 総合福祉会館「やすらぎの里」2階会議室

▶対象となる品物 常温保存可能で、賞味期限が3カ月以上あるもの(1人につき1～2品)

【例】米、パスタ、そば、うどん、乾物(のり・豆・かつお節など)、調味料、油、保存食品(缶詰など)、インスタント・レトルト食品、ギフトパック(贈答品の余剰品)、飲料(ジュース・コーヒー・紅茶など)

▶共 催 フードバンク北関東

▶問い合わせ 行田市社会福祉協議会 ☎557—5400



平成29年度の行田市生活道路等 整備事業評価が閲覧できます

市では、市民の皆さんから寄せられた道路などの整備にかかる種々の要望の事業化に当たり、より公平性・透明性を確保し、かつ効率的な事業執行が図れるよう「行田市生活道路等整備事業評価システム」を導入しています。

なお、事業評価の結果は、次の場所で閲覧できます。

▶閲覧場所および内容

【道路治水課】生活道路や生活排水路の整備要望に関する事業評価

【農政課】農道や農業用排水路の整備要望に関する事業評価

▶問い合わせ

・道路新設改良については道路治水課道路建設担当、道路維持修繕については同課維持補修担当、排水路整備については治水担当※いずれも ☎550—1553

・農道や農業用排水路整備については農政課耕地担当(内線388)

「市民セミナー」受講生を募集します

No.	期 日	時 間	テーマ	内 容	講 師
1	1月31日(火)	午後1時30分～3時	ヨガによる体質改善、生きる喜び	インド発祥のヨガについて、講義と実践を通して実生活に役立つ健康法を学びます。	三谷雅昭さん(NPO法人ときめきライフ埼玉副理事長)
2	2月7日(火)		自分のための旅作り!	楽しい旅作りのノウハウを知り、賢い旅の楽しみ方を学びます。	吉田陽子さん(けんかつ市民講師)
3	2月21日(火)		あなたの足は大丈夫?～フットケアについて～	足のトラブルのフットケアや足裏マッサージによる体の働きの整え方を学びます。	羽生総合病院看護師
4	2月28日(火)		県名発祥の地「さきたま」の歴史を学ぶ	埼玉古墳群の成り立ちや国宝の金錯銘鉄剣などの古代ロマンについてわかりやすく解説します。	新井喜広さん(生涯学習コーディネーター)
5	3月7日(火)		ころばぬ先の杖～生活習慣を見直しませんか～あなたのロコモ度どれくらい?	筋力低下など運動機能の衰えを防止し、ロコモティブシンドロームの予防について学びます。	羽生総合病院看護師

▶場 所 中央公民館第2学習室(「みらい」内)

▶対 象 市内在住・在勤の方

▶定 員 30人(先着順)

▶受 講 料 無料

▶申し込み・問い合わせ 1月13日(金)午前9時から直接同館(電話受け付けは翌日午前9時から) ☎556—2649

目帰り恋活ツアー

行田市・加須市・羽生市合同で目帰り恋活ツアーを実施します。

【加須・行田コース】

- ▶期 日 2月18日(土)
- ▶集合・解散場所 加須市役所 1階ロビー(加須市三保2-1-1)
- ▶行 程 むさしの村(うどん作り体験)→忍城

【羽生・行田コース】

- ▶期 日 3月18日(土)
- ▶集合・解散場所 三田ヶ谷農村センター(羽生市三田ヶ谷2277)
- ▶行 程 キヤッセ羽生(いがまんじゅう作り体験)→忍城

両コースとも

- ▶集合時間 午前10時30分
- ▶対 象 25歳～49歳の市内在住・在勤の独身男性
- ▶定 員 各6人※定員を超えた場合は抽選
- ▶参加費 2,000円
- ▶主 催 北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会
- ▶その他 女性の参加者は、都内を中心に募集します。
- ▶申し込み 1月4日(水)～31日(火)に住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースおよび期日(両コース申し込みは不可)を明記の上、郵送、FAXまたはEメールで企画政策課【郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市企画政策課【FAX】553-1355【Eメール】kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp
- ▶問い合わせ 同課企画政策担当(内線311)

各種相談 (1月15日～2月14日)

相 談	場 所	期 日	時 間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館 2階会議室	1月24日(火)、2月9日(水) ※予約はその月の1日から(土・日曜日、祝日の場合は翌日)	午前9時20分～正午	地域づくり支援課 (内線252)
行政	産業文化会館 2階会議室	1月16日(月)、2月6日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活 多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～午後3時30分	消費生活センター (内線495)
結婚	VIVAぎょうだ	2月5日(日)	午前10時～正午	NPO法人行田結婚支援センター ☎090-2416-9692
不動産	市役所	1月18日(水)	午前9時～正午	公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会北埼玉支部 ☎562-5900
相続、遺言、離婚、 日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	2月8日(水)※予約制	午後1時～5時 (受け付けは午後4時まで)	埼玉県行政書士会埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど (予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※各土曜日は市内在住の方を対象に電話相談も受け付けます。	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
認知症 (予約制)	産業文化会館 2階会議室	1月25日(水) ※40歳以上で認知症に対して不安を持っている方またはその家族が対象 ※1月23日(月)までに予約が必要です。	午後2時～3時30分	高齢者福祉課 (内線278)
内職	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時～午後5時	商工観光課 (内線383)
人権	VIVAぎょうだ	2月8日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課 (内線221)
税務(予約制)	関東信越税理士会行田支部 (市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く) ※予約受け付けは毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
水道料金の 休日納付	水道庁舎(前谷)	2月5日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の 夜間納付	水道庁舎(前谷)	1月24日(火)、2月7日(火)	午後5時15分～7時	

放射線量の測定値
・測定箇所 行田消防署本署地内 ・測定高 1メートル
12月18日(日) 午前9時 0.06マイクロシーベルト(晴れ) 午後3時 0.06マイクロシーベルト(晴れ)

ご参加ください 「市政懇談会」

市民の皆さんの声を聴き、市政について意見交換を行う「市政懇談会」を開催します。次の地区を対象に懇談会を開催しますので、ぜひご参加ください。

- ▶開催日時・場所 【南河原地区】1月26日(水)午後7時～8時30分・南河原公民館
- ▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

今月の納税

国民健康保険税 7期
介護保険料 7期
後期高齢者医療保険料 7期

納期限 1月31日(火)

市税の納付には、「安心！ 確実！ 便利！」な口座振替をご利用ください。

市内施設めぐりの参加者を募集します

市の施設をはじめ、市内に点在する施設を見学し、理解と認識を深めることを目的に「市内施設めぐり」を開催します。参加者の皆さんから事前に訪問を希望する期日、施設をお聞きした上で実施しますので、ぜひご参加ください。

- ▶期 日 3月1日(水)～15日(水)のうち1日(土・日曜日を除く)
- ▶対 象 市内在住の方(大学生以上)
- ▶定 員 1組10人以上※定員に満たない場合は中止
- ▶参加費 無料(昼食は各自用意) ※施設により入館料がかかる場合があります。
- ▶その他 日程により見学できない施設があります。
- ▶申し込み 2月3日(金)までに代表者の氏名、住所、電話番号、参加人数を明記の上、FAXまたはEメールで広報広聴課【FAX】550-2116【Eメール】koho@city.gyoda.lg.jp ※電話での申し込みも可
- ▶問い合わせ 同課広報広聴担当(内線318)

冬のエコライフDAYにご参加ください

「1日環境に良いことをする日」を決めて、チェックシートを基に、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を送るエコライフDAY。このたび開催する「冬のエコライフDAY」に参加して、今のライフスタイルを見直してみませんか。

- ▶参加方法 環境課または各公民館で配布しているチェックシートに記入してください。1月23日(月)までに同課または行田環境市民フォーラムの協力により各公民館に設置している回収ボックスに提出してください。
- ▶その他 参加者が3人以上の自治会、団体、企業にはチェックシートを郵送しますので、ご連絡ください。
- ▶問い合わせ 同課環境政策担当 ☎556-9530

猫との共生を考えましょう

近年は、猫の飼い主のマナーも向上していますが、いまだ不妊去勢をしていない猫が屋外で繁殖したり、その周辺では猫のふん尿や鳴き声が発生したりするなど、近隣の住民に迷惑を及ぼしていることがあります。猫との共生を考え、次のことを守り人も猫も住みよいまちを作りましょう。

猫との共生ルール～飼い主の方へ～

- ・不妊去勢手術を受けさせましょう。
- ・できるだけ室内で飼いましょう。
- ・最後まで責任を持って飼いましょう。やむを得ない理由で飼えなくなったときは、必ず新しい飼い主を見つけましょう。
- ・屋外でえさを与えないでください。

- ▶問い合わせ 埼玉県動物指導センター ☎536-2465

埼玉県内市町村職員採用情報 フォーラム2017を開催します

市町村職員の仕事や魅力をPRするフォーラムを開催します。これから就職活動を始める方、公務員を志望している方、民間企業と公務員で迷っている方など多くの方の参加をお待ちしています。

- ▶日 時 2月10日(金)午後1時～4時(午後0時30分開場)
- ▶場 所 さいたま市民会館おおみや大ホール(さいたま市大宮区下町3-47-8)
- ▶内 容 ①現役市町村職員による講演
②若手職員によるトークライブ
③若手職員との個別相談コーナー
- ▶定 員 1,300人(先着順)
- ▶入 場 料 無料
- ▶その他 事前申し込みは不要です。
- ▶問い合わせ 彩の国さいたま人づくり広域連合市町村職員担当 ☎048-664-6681

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制で、紹介後は個人間のやり取りとなります。また、登録品は無料で登録期間は3カ月です。
なお、円滑な仲介事務を進めるため、不用品登録の際に写真の提供をお願いします。写真を提供していただける方は、ご連絡ください。

さしあげます

- ▷ポリタンク ▷池水槽 ▷ベビーベッド ▷電気ストーブ
- ▷机(書斎用) ▷加湿器

ゆずってください

- ▷男の子用自転車 ▷水槽 ▷CDラジカセ ▷はしご ▷液晶テレビ ▷パソコン ▷ミシン(家庭用・足踏み式) ▷温風ヒーター ▷石油ストーブ

▼問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530

効果の高いサーキットウォーキング教室

日時 1月24日(火)午後2時～4時
場所 「行田グリーンアリーナ」サブアリーナ
対象 市内在住の方
定員 30人(先着順)
持ち物 運動しやすい服装、室内運動靴、飲み物、タオル、健康手帳(お持ちの方)、筆記用具
申し込み 直接または電話で保健センター

きもちリフレッシュ講座

日時 2月3日(金)午後2時～4時(午後1時30分から受け付け)
場所 商工センター 401 研修室
演題 「ココロが軽くなる！マインドフルネス術～呼吸法・瞑想法でココロの病気を予防改善～」
講師 大田健次郎さん(NPO法人マインドフルネス総合研究所代表)
定員 50人(先着順)
その他 市民けんこう大学・大学院と合同開催となります。
申し込み 1月25日(水)までに電話で保健センター

検(健)診の受け忘れはありませんか ～2月28日(火)まで～

歯周疾患検診

対象

対象年齢	生年月日
40歳	昭和51年4月2日～昭和52年4月1日
45歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
50歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
55歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
60歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日

受診方法 ①上記年齢に該当し、受診券はがきをお持ちでない方は保健センターへ申し込みください。
 ②受診券はがきがある方は、指定医療機関へ予約してください。
内容 口腔内検査(現在歯・喪失歯・歯肉の状況)、口腔清掃状態の診査
費用 500円

肝炎ウイルス検診

対象 昭和52年4月1日以前に生まれた方(今までに検診を受けたことがある方を除く)
受診方法 保健センターへ申し込み、送付された受診票を持参の上、指定医療機関で予約してください(指定医療機関一覧は受診票に同封)。
内容 血液検査
費用 500円

肺の健康づくり講演会

日時 1月26日(水)午後2時～4時(午後1時40分から受け付け)
場所 商工センターホール
演題 「肺活して、健康長寿を延ばしましょう！」
講師 ファイザー株式会社所属医師
申し込み 直接または電話で保健センター

予防しよう！腎臓病

日時 2月13日(月)午後2時～4時(午後1時45分から受け付け)
場所 商工センター 403 研修室
内容 ①小林万寿夫さん(清幸会行田中央総合病院医師)による講義「腎臓の病気」
 ②保健師・管理栄養士による講話「腎臓を予防するための生活のポイント、減塩と食生活のこと」
対象 市内在住の方
定員 25人(先着順)
持ち物 健康手帳、筆記用具、特定健診結果または人間ドックの結果
申し込み 1月6日(金)～2月3日(金)に直接または電話で保健センター

ヤング健診

対象 昭和52年4月2日～平成13年4月1日生まれの方で、職場などで健診機会のない方(学生を除く)
受診方法 保健センターへ申し込み、送付された受診票を持参の上、指定医療機関で予約してください(指定医療機関一覧は受診票に同封)。
内容 身長・体重測定、血圧測定、血液検査、尿検査など
費用 1,000円

がん検診

検診の種類	対象	費用
大腸がん検診	40歳以上の方	500円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	500円
子宮がん検診	20歳以上の女性	800円または1,000円
乳がん検診	40歳以上の女性(2年に1回)	800円

※年齢は平成29年3月31日現在
 ※医療機関は「保健センターのお知らせ」をご覧ください。
受診方法 大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮がん検診は医療機関へ予約してください。乳がん検診は、保健センターへ申し込み、送付された受診票を持参の上、指定医療機関で予約してください(クーポンはがきがある方は、指定医療機関へ直接予約可)。

いずれの検(健)診も70歳以上の方、生活保護受給中の方、市民税非課税世帯の方は無料です。市民税非課税世帯の方は検診予定日の2週間前までに保健センターで申請が必要です。



保健案内

保健センター
 長野2-3-17
 TEL:553-0053
 FAX:555-2551



子どもの健康

乳幼児健診

健診名 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
その他 転入されたお子さんと、前住所地で受診していない方は保健センターにご連絡ください。

離乳食教室(初期)(要申し込み)

日時 2月2日(水)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 4～5カ月のお子さんとその保護者

離乳食教室(中期)(要申し込み)

日時 2月3日(木)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 7～8カ月のお子さんとその保護者

※いずれも場所は保健センター

赤ちゃんクラス

4カ月児健診を受診する際に必要な受診票の配布、健診の受診方法、予防接種や育児に関する説明などを行います。

日時 1月30日(月)午前10時30分～11時30分(午前10時から受け付け)
場所 保健センター
対象 平成28年11月生まれのお子さんとその保護者
 ※対象者には通知します。
 ※平成28年12月1日生まれ以降のお子さんがある方は、昨年3月に世帯配布した「保健センターのお知らせ」をご覧ください。
その他 申し込みは不要です。

ママ・パパ教室

期日 ①1月26日(水) ②2月14日(火)
時間 午後1時15分～4時(午後1時から受け付け)
場所 保健センター
内容 ①妊娠中と赤ちゃんの歯の健康、沐浴、フリートーク
 ②妊娠中の栄養の話、沐浴、フリートーク
対象 妊婦とその家族
定員 各16人(先着順)
注意 安定期に入った妊娠中・後期(16週～34週)の参加をお勧めします。
申し込み ①は1月20日(金)までに、②は2月10日(金)までに直接または電話で保健センター

休日急患診療

期日	医療機関名	期日	医療機関名
1月22日(日)	壮幸会行田総合病院	2月11日(土)	清幸会行田中央総合病院
1月29日(日)	清幸会行田中央総合病院	2月12日(日)	壮幸会行田総合病院
2月5日(日)	壮幸会行田総合病院		

- 診療科目……内科、小児科、外科
- 診療時間……午前10時～午後5時
 ※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。
- 壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- 清幸会行田中央総合病院 ☎553-2000
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき
- 行田市消防署 ☎550-2123
- 埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
- ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
- 県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります(携帯電話可)。
- 相談時間【月～土曜日】午後7時～翌日午前7時【日曜日、祝日】午前7時～翌日午前7時
- ◇埼玉県大人の救急電話相談「#7000」
- 県内どこからでも「#7000」をプッシュし、音声ガイダンスに従ってボタン1を押すと相談窓口につながります(携帯電話可)。
- 相談時間【月～土曜日】午後6時30分～10時30分【日曜日、祝日】午前9時～午後10時30分

在宅医療窓口

- ◇「病気があがる、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき
- 在宅医療支援センター ☎553-2060
- 相談時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
- ◇「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき
- 在宅歯科医療推進窓口 ☎080-1391-8020
- 相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く)※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

おとなの健康

こころの相談(要申し込み)
日時 1月27日(金)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
対象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいる、飲酒量が多くやめられないなど、心に悩みのある方
その他 随時、電話での相談も受け付けます。

定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日時	内容	対象	協力団体など	場所
ボランティアによるおはなし会	1月15日(日)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生	おしゃべりインコの会	図書館 おはなしの へや
	1月28日(土)午前11時			おはなしタンパリン	
	2月4日(土)午後2時			おはなしの会	
	2月11日(土)午後2時			おはなしポケット	
とことこおはなし会	1月18日(水)、2月8日(水) 午前10時30分～11時 ※とことこタイムで実施	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい	図書館職員が実施	図書館 おはなしの へや
てくてくおはなし会	2月5日(日) 午前11時～11時30分	絵本や紙芝居など	4歳児ぐらい～小学生	図書館職員が実施	
英語のおはなし会	2月12日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生	ハートイングリッシュスクール	
子ども映画会	1月21日(土)午後2時	ぼくは王様～しゃぼん玉と日曜日～		図書館職員が実施	
図書館シネマ倶楽部	1月22日(日)午後1時30分	ローマの休日(洋画)	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます	図書館職員が実施	「みらい」2階映像ホール
ブックスタート	1月18日(水)・25日(水) 午前10時～正午	絵本の読み聞かせ、育児のアドバイス、絵本セットの手渡し	平成28年7月1日～9月30日生まれのお子さんとその保護者 ※母子健康手帳を必ずお持ちください。	NPO法人 子育てネット行田	図書館 ミーティングルーム

鴻巣行田北本環境資源組合では意見公募(パブリックコメント)を行います

鴻巣行田北本環境資源組合では、ごみ処理広域化に向け、新たなごみ処理施設に関する施設整備基本計画を策定するため、計画案について構成市(鴻巣市、行田市、北本市)の市民の皆さんの意見を募集します。

▶意見募集・閲覧期間 1月30日(月)～2月13日(月)(土・日曜日を除く)

▶閲覧場所

- ・鴻巣行田北本環境資源組合計画建設課(鴻巣市立教育支援センター東館内)
- ・構成市市政情報コーナー
- ・同組合および構成市のホームページ

▶対象

- ・構成市内に住所を有する方
- ・構成市内で事業その他の活動を行う個人または法人その他の団体
- ・構成市内に通勤または通学する方
- ・構成市に対して納税義務を有する方
- ・上記の他、本案件に利害関係を有する方

▶提出方法 各閲覧場所で配布している意見書(同組合ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で鴻巣行田北本環境資源組合計画建設課【持参・郵送】〒365-0004 鴻巣市関新田1300-1(鴻巣市立教育支援センター東館内)【FAX】501-6209【Eメール】kgk-sigen-br@k-ichikumi.jp

▶意見に対する回答 意見に対する個別の回答は行いません。結果は、同組合ホームページなどでお知らせします。

▶その他 いただいた個人情報は、本件以外の目的では使用しません。

▶問い合わせ 鴻巣行田北本環境資源組合計画建設課 ☎501-6708

景観まちづくり講演会を開催します

県では、旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保存・活用する「歴史のみち広域景観形成プロジェクト」の推進にあたり、これまで県内5地区を「歴史のみち景観モデル地区」として選定し、景観まちづくりの啓発活動や景観法の活用などの支援を行っています。

市では、6月に「忍城址周辺地区」が新たに景観モデル地区として指定されたことを受け、このたび埼玉県景観アドバイザーによる実践的な景観まちづくりをテーマとした講演会を開催します。また、秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアの「まち並み」と「にぎわい」について、自由に考え、意見を出し合う場として開催してきたワークショップの結果も併せて報告します。

▶日時 2月20日(月)午後6時30分～7時30分

▶場所 商工センター403研修室

▶演題 「景観づくりの仕組みや事例」

▶講師 桑田仁さん(芝浦工業大学教授)

▶定員 30人(先着順)

▶参加費 無料

▶申し込み・問い合わせ 直接または電話で都市計画課計画担当(内線5605)

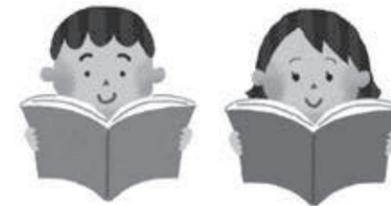
図書館だより

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時
休館日 1月1日～3日(火)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・31日(火)・2月6日(月)・13日(月)
※休館中(年末年始を除く)の圖書の返却はブックポストをご利用ください。

新着図書

- ・私はいったい、何と闘っているのか つぶやきシロー／著
- ・ノスタルジー 1972 中島京子、早見和真、朝倉かすみ、堂場瞬一、重松清、皆川博子／著
- ・大人の動物占いPremium 2017年版 動物占いイヤーブック 主婦の友社／編
- ・ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部 J.K.ローリング、ジョン・ティファニー、ジャック・ソーン／著 松岡佑子／訳
- ・かわいがってくれるの、だあれ? キルメニー・ナイルランド／さく せなあいこ／やく
- ・もうあかん! 岡田よしあき／作



新着DVD・新着CD

<DVD>

- ・海難1890
- ・杉原千畝 終戦70年 特別企画
- ・三遊亭円楽 花王名人劇場 落語傑作集 他12点

<CD>

- ・フォールン・エンジェルズ (ポップ・ディラン)
- ・醒めない(スピッツ)
- ・ピュア・マッカートニー (ポール・マッカートニー) 他10点

今月のおすすめCD

- ・火花(又吉直樹／原作、堤真一／朗読) 芥川賞受賞作「火花」をノーカットで朗読した4枚組CDです。

暮らしに役立つ法律情報講座～法令データベースの使い方～

交通事故や著作権など身近な話題を元に、法律や判例についての調べ方を、法令データベースを活用し、わかりやすく解説します。

▶日時 1月29日(日)午後1時30分～3時30分

▶場所 中央公民館2階PCルーム(「みらい」内)

▶講師 山内享郎さん(第一法規株)

▶定員 20人

▶申し込み 直接または電話で申し込みください。

ビデオブースを増設しました

ビデオを視聴できるブースが増えました。ビデオでしか観られない「ポケモン」、「ドラえもん」、「おそくん」の他、約2,100点のビデオがありますので、ぜひご利用ください。

「図書館シネマ倶楽部」にお越しください

毎月第4日曜日に大人向けの映画を上映する(どなたでも鑑賞できます)「図書館シネマ倶楽部」を実施します。また、1回の鑑賞につき1ポイントがつくポイントカードを発行します。10ポイントで、プレゼントを差し上げます。ご夫婦やお友達と、午後のひとときをお楽しみください。

▶期日・作品名・上映時間

期日	作品名	上映時間
1月22日	ローマの休日(洋画)	118分
2月26日	命のビザ(邦画)	115分
3月26日	最高の人生のつくり方(洋画)	94分
4月23日	いつか読書する日(邦画)	127分
5月28日	リバーランススルーイット(洋画)	124分
6月25日	おくりびと(邦画)	131分
7月23日	☆上映までのお楽しみ	—
8月27日	父と暮らせば(邦画)	99分
9月24日	嵐が丘(洋画)	104分
10月22日	銀河鉄道の夜(邦画)	48分
11月26日	第3の男(洋画)	100分
12月24日	☆上映までのお楽しみ	—

▶時間 午後1時30分上映開始(午後1時10分開場)

▶場所 「みらい」2階映像ホール

▶定員 70人(先着順)

▶入場料 無料

▶その他 申し込みは不要です。ストーリーなど詳しくは館内掲示をご覧ください。再生機器の不調などのため、予定作品を変更する場合があります。



新 たな観光大使にNoeさんが就任

行田市観光大使委嘱式

11月25日、市役所応接室で行田市観光大使委嘱式が行われました。この日委嘱を受けたのは、行田市出身のシンガーソングライター・Noeさん。本市出身の女流棋士・矢内理給子さん、同じく本市出身の根本要さんがボーカル・ギターを務めるバンド「スターダスト☆レビュー」の皆さんに続き、3組目となります。現在は、全国各地でライブ活動を行ったり、スポーツ番組のエンディングテーマ曲を担当したりと、幅広く活躍中です。

工藤市長から委嘱状を手渡されたNoeさんは、「ふるさと行田の魅力により多くの方に知ってもらいたい。真心を込めてPRしていきます」と抱負を語りました。



ぎょうだ“夢”まつり

自 慢のオリジナル足袋を披露

11月23日、産業文化会館前でぎょうだ“夢”まつりが開催されました。

食と農業と環境をテーマにしたこのイベントは今年で5回目。ご当地グルメや農産物販売の他、特設ステージではキッズダンスや武将隊コラボイベント、毎年恒例のゼリーフライ大食い大会などが行われ、第5回ゼリーフライ選抜総選挙では、「さんぼ道」が栄冠を勝ち取りました。

中でもぎょうだ足袋コレでは、参加者が自身で考案したオリジナル足袋を履き、思い思いの衣装で登場。華やかな和風柄の足袋や掃除もできる実用的な足袋など自慢の一品を、個性豊かなパフォーマンスとともに観客に向け披露していました。



学 校が楽しくなる“言葉の魔法”

下忍小学校 お笑い授業

12月6日、下忍小学校でお笑い授業「言葉の魔法～学校がもっと楽しくなるために～」が行われました。

この授業は、言葉を受け取る側を意識した「優しい言葉遣い」を励行し、みんなが気持ちよく過ごせる学校を目指そうと開催したもの。新潟市を本拠地とするお笑い集団NAMARAのメンバー・高橋なんぐさんが自らの世界一周の旅で実感した日本語の難しさについて話し、コミュニケーションの大切さを伝えました。



第60回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会

た すきでつなぐ熱い思い

12月4日、総合公園および周辺を会場に第60回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が開催されました。

この日は市内外から115チームが参加。勢いよくスタートした選手たちは、たすきに勝利への熱い思いを込め、コースを駆け抜けました。仲間いたすきをつなぐため、寒さにも負けず懸命に走る選手たちの姿に、観客からは大きな声援が送られていました。



わらアートまつり

わ らで作られた「スライム」と「キングスライム」が登場

11月27日、わらアートまつりが古代蓮の里で開催されました。

今年のわらアートのテーマは、田んぼアートに引き続き「ドラゴンクエスト」。ゲームに登場するモンスター「スライム」と「キングスライム」が古代蓮会館前にあられました。高さ9.3メートルの「キングスライム」は内部を見学することができ、中に入った子供たちから「広い」「わらの匂いがする」と歓声が上がっていました。

また、つきたての餅やゼリーフライも振る舞われ、来場者は充実した時間を過ごすことができました。なお、わらアートは3月26日まで展示されます。



南河原中学校 創立70周年記念ふれあい講演会

母 校の生徒たちへアドバイス

12月9日、南河原中学校で創立70周年記念ふれあい講演会が催され、同校出身で株式会社ファイブズホーム代表取締役の細井保雄さんが「幸せになる！仕事大好き人間」と題した講演を行いました。

同校では、生徒たちに将来のことを考えるきっかけにしておうと、毎年各分野で活躍している人を招いています。細井さんは、成功するためのコツや人に好かれるためにはどうしたらよいかなど、“先輩”たちとコミュニケーションを取りながら分かりやすくユーモアを交えて語りました。



白 熱した試合展開

第25回ドッジボール大会

12月3日、行田グリーンアリーナでドッジボール大会が開催されました。今年で25回目を迎え、前回より多い37チームが参加。中学年の部・高学年の部の試合がリーグ戦で行われ、選手たちは勝利を目指し、チーム一丸となって競技に臨みました。どの試合も白熱し、選手の家族もたくさん応援に駆けつけ、会場全体が盛り上がった大会となりました。





精いっぱいの真心を込めて

植物を栽培

山本春子さん(埼玉・56歳)

年末が近づくと街なかに出回り、冬の定番植物となつているポインセチア。12月3日にほくさい農業協同組合行田中央支店で行われた第18回行田市農産物品評会で、ツリー型のポインセチアが行田市議会議長賞を受賞した山本春子さんを紹介します。

21歳で花卉園芸農家に嫁いだ山本さんは、結婚後10年ほど家事や子育てに専念していましたが、そして30歳を過ぎた頃、本格的に農業に携わるようになり、ポインセチアの他にもハーブゼラやガゼニアなど、一年に30種類以上の植物を育てています。栽培は家族で協力し合っており、鉢植えの状態を見ながら市場ごとに品種や数を決めて出荷するのは山本さんの役割となつていそうです。



今回、受賞したツリー型のポインセチアは、昨年(平成27年)から作り始めました。山本さ

んが育てている植物の中で最も手が掛かるといふポインセチアは、葉を赤く色付かせるために光を遮断する短日処理を行うなど、半年もの間、常に気を配る必要があります。「大変ですが、出荷するときは喜びに変わります。それがやりがいでもあるんですよ」と山本さんはほほ笑みます。

また、花卉の栽培以外にも力を入れているのが、小・中学校や高校などからの農業体験学習や農業実習の受け入れ。体験や実習を通じて、植物に直接触れ、育てる楽しさを味わってもらいたいそうです。「植物は愛情を注いだ分だけ応えてくれる。達成したときの喜びをストリートに感じられるのも農業の魅力だと伝えたいですね」と話します。

すでにポインセチアの栽培で高い評価を得ている山本さんですが「ツリー型のポインセチアを思い描いた通りの形に作り上げていきたい。そのためには、経験者から学んだりして技術を磨きたいです」とさらなる意欲をのぞかせます。「商品というより作品という気持ちで、手元を離れる瞬間まで精いっぱい真心を込めて育てていきたい。植物を観賞することで心が癒やされ、幸せを感じてもらえたらうれしいです」と優しいまなざしで植物を見つめています。山本さんの育てた植物が、今日もいろいろな場所であつた人々の笑顔に添えられています。

私の作品

俳句

- 南河原 今村 文女
老いてなほ二人三脚障子貼る
- 荒木 藤田 栄之
時雨るるや流れに印す跡もなく
- 矢場 高田みつ子
冬紅葉類に山気の触れてるし
- 忍 丸山 連子
山茶花の紅の咲きつぐティータム
- 城南 橋本千枝子
ありのまま生きて今日あり寒椿
- 持田 伊藤 洋子
菊の香やいま青春と夫は笑む
- 荒木 森田 静
逆らへば北風なほも強くなり
- 荒木 手島 一海
山茶花や馬の埴輪の耳塞ぐ
- 荒木 藤田 明枝
冬夕焼心の窓に落し込む
- 富士見町 鈴木スイ子
霧晴れて低き連山ととのへり
- 持田 小倉 繁三
座禅へと急ぐ道々霧深し
- 持田 斉藤 協二
小春日や大公望の背は伸びて
- 富士見町 森 節子
同窓の友は彼の世へ小夜しぐれ
- 持田 二瓶 弘子
新米のひかりそのまま塩むすび
- 荒木 小林 康男
年玉を子等より受くる歳となり
- 清水町 柳沢 紀子
退院の夫を迎へる冬座敷
- 持田 長田 義子
菊花展どれも優劣つけ難し
- 樋上 吉澤とし子
玄関に遣せし義父の水仙花
- 谷郷 柳瀬 久
冬うらら米寿祝いに招かれる
- 長野 石川 文子
文化祭一所離れぬ老夫婦
- (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

はじめまして



平成28年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(水)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、2月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成28年1月生まれのおともだち ★★★



佐藤 優莉菜ちゃん(長野)
平成28年1月18日生まれ
父・淳哉さん 母・陽子さん
「わが家のいやしの存在」



新井 さくらちゃん(岡山)
平成28年1月25日生まれ
父・新さん 母・綾子さん
「笑顔最高♡
元気に育ってね」



黒崎 眞ちゃん(長野)
平成28年1月1日生まれ
父・祐さん 母・美加さん
「すくすく大きくなあれ♡」



二本柳 湊仁ちゃん(長野)
平成28年1月18日生まれ
父・建さん 母・綾美さん
「元氣いっぱい
大きくなつてね♡」



児玉 空恋ちゃん(城西)
平成28年1月3日生まれ
父・和さん 母・真澄さん
「いつもニコニコ
わが家のアイドル」



二本柳 陽愛ちゃん(長野)
平成28年1月13日生まれ
父・大城さん 母・遥さん
「元氣いっぱい遊ぼうね」

ぎょうだの会社を
クローズアップ!!

有限会社東洋シビル

確かな技術による測量と設計で現場を支える



会社プロフィール

代表取締役 小嶋 幸男
【事業内容】 測量、土木設計
【住所】 長野4-29-41

測量と土木設計を専門とする有限会社東洋シビルは、代表取締役の小嶋幸男さんが建設コンサルタント会社に勤務していた頃に培った経験を生かし、昭和57年4月に創業しました。同社は関東から東北までの地域を中心に、自治体の公共測量や利根川など河川工事の起工測量、シヨッピングモールや病院の新築工事に関わる確定測量や開発設計業務を主に受注。起工測量とは工事前に現場の状態を把握する測量、確定測量とは土地の境界や面積を決定する測量のことで、市内では市役所の駐車場や市道、農道の整備などに携わっています。経験に裏打ちされた正確で迅速な測量は建設業者からも厚い信頼を得ており、現場作業の根幹を担っています。

また、土木設計の分野では「イージーラーメン橋」の設計に取り組んでいます。「イージーラーメン橋」とは、橋の上部と支柱部分を剛結合させた門型ラーメン構造をもつ橋のことです。従来の橋に比べて地震に強く、工期の短縮やコスト削減も期待できます」と小嶋さんは特徴を説明してくれました。た。イージーラーメン橋の構造は県内に多い掘り込み式河川と相性が良く、老朽化を迎えた橋の架け替えが増加している近年、注目を浴びているとのこと。市内では酒巻導水路で採用されており、他にも熊谷市など新たに3橋の設計を手掛けてきたそうです。今後イージーラーメン橋を普及させていきたいという同社。さらに、平成28年から国土交通省が推進する情報通信技術を用いた建設事業を支援する取り組み「E-Construction(アイ・コンストラクション)」への対応にも力を入れています。「アイコンストラクション」は、これまでの2次元測量から3Dスキャナーを使った3次元測量技術で、今年度より国土交通省の築堤工事において採用されています。当社においても社員研修を積極的に進めており、早期に新たな技術を取り入れて作業の効率化を図りたいと考えています」と話してくれました。時代の流れを見据え、測量・設計技術の向上に努め続ける同社は、これからも多くの現場を支えてくれることでしょう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

イベント

第19回公募
行田市美術展

▼日時 2月9日(木)～12日(日)午前9時30分～午後4時30分(12日は午後4時まで) ▼場所 「行田グリーンアリーナ」サブアリーナ ▼内容 絵画(彫刻を含む)、工芸、書、写真の展示 ▼主催 行田市美術家協会、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツい

第7回行田市
少年少女囲碁大会

▼日時 2月4日(土)午前9時～午後4時 ▼場所 中央公民館(「みらい」内) ▼内容 19路盤戦ノーハンド戦およびハンド戦(棋力認定を兼ねる)、13路盤戦(初心者対象)、プロ棋士による入門教室、プロ棋士による指導講 ▼対象 中学生以下

きいき財団 ▼圃 行田市美術展実行委員会事務局(産業文化会館内) ☎556-6371

行田ふれあいポタリング&ウォーキング2017を開催します

▶日時 3月25日(土)午前8時～午後2時(予定) ※予備日3月26日(日) ▶集合場所 市民プール脇駐車場 ▶内容 忍城址、古代蓮の里、さきたま古墳公園など魅力あふれる行田の名所を自転車や徒歩で巡る。 ▶対象 小学生以上(小学生は保護者同伴のこと) ▶定員 【ポタリング】200人(先着順) 【ウォーキング】300人(先着順) ▶参加費 【小・中学生】500円(保険料を含む) 【高校生以上】1,000円(保険料を含む) ▶主催 行田市自治会連合会 ▶後援 行田市他 ▶申し込み 次のいずれかの方法で申し込みください。 ①1月中旬に自治会を通して配布されるチラシに印刷してある申込用はがきに必要事項を記入の上、郵送 ②2月上旬に新聞に折り込むチラシの申込欄に必要事項を記入の上、FAX ▶問い合わせ 同連合会事務局(地域づくり支援課内・内線251)

広告

ホール ▼内容 行田市合唱連盟加盟団体と参加団体の各合唱団による合唱発表、全体合唱「行田音頭」 ▼入場無料 ▼主催 同連盟 ▼後援 行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会 ▼圃 大澤 ☎554-4588

中央小学校
吹奏楽部演奏会

▼日時 2月4日(土)午後1時開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼曲目 「ウィンド・オン・ザ・ヒル」「ゴーゴーブラス」他 ▼入場無料 ▼主催 中央小学校 ▼後援 行田市教育委員会、吹奏楽部保護者会 ▼その他 忍中学校の生徒や中央小学校吹奏楽部OBも出演 ▼圃 同校 ☎554-5551

佐間写真クラブ
新春作品発表会

▼日時 1月19日(木)～22日(日)午前9時～午後4時30分(19日は午前10時から) ▼場所 佐間公民館 ▼圃 佐間写真クラブ代表高澤 ☎555-1335



(入門教室は保護者も可) ※小学生以下は原則保護者同伴のこと ▼参加無料 ▼主催 行田市教育委員会 ▼主管 行田市音楽会 ▼後援 (公財)日本棋院、NPO法人埼玉県少年少女囲碁協会 ▼圃 同館で配布している申込用紙(同館ホームページ)からダウンロード可)に必要事項を記入の上、1月20日(金)までに直接またはFAXで同館【FAX】553-5760 ▼圃 同館 ☎556-2649

浮城シニアクラブ連合会
「第5回いきいき芸能発表大会」

▼日時 1月27日(金)午後0時30分～4時(正午開場) ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 浮城シニアクラブ連合会会員による踊り、ダンス、カラオケ、民謡などさまざまな芸能の披露。 ▼入場無料 ▼主催 浮城シニアクラブ連合会 ▼圃 同会事務局(高齢者福祉課内・内線225)

第32回行田市合唱祭

▼日時 1月22日(日)午後0時20分開演 ▼場所 産業文化会館

平成28年度行田市民
卓球大会冬季大会

▼日時 2月12日(日)午前9時 ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼種目 ①男子シングルス1部・2部 ②男子ダブルス ③女子シングルス1部・2部 ④女子ダブルス ⑤男子シニアの部(60歳以上) ⑥中学生以下の部(男子・女子シングルス) ※1人2種目までとし、各シングルの重複は不可。また、中学生以下の部に参加する方は他種目との重複参加不可。 ▼対象 市内在住・在勤・在学の方および連盟が認めた方 ▼参加費 「シングルス」一般・シニア800円、中学生以下の部500円 【ダブルス】1組1千円 ※中学生以下が一般の部に参加する場合は、一般の参加費が必要。連盟未登録者は各種目200円増し ▼その他 不参加の場合、参加費の返金不可。 ▼圃 1月20日(金)午後7時までに住所、氏名、種目、電話番号を明記の上、郵送またはFAXで大会事務局村松(〒361-0022 行田市桜町3-17-14)【FAX】553-2685 ▼圃 同事務局 ☎554-3801

広告

正午 ▼場所 児童センター遊戯室 ▼内容 節分の豆まき、楽しいマジックショー ▼対象 幼児・小学生およびその保護者(祖父母も可)、中学生、高校生 ▼定員 30人(先着順) ▼参加無料 ▼圃・圃 1月22日(日)までに児童センター ☎554-5706

節分祭 豆まき

▼日時 2月3日(金)【1回目】午後3時【2回目】午後4時30分(雨天決行) ▼場所 行田八幡神社 ▼内容 豆まきの他、忍城おもてなし甲冑隊による演舞や若葉保育園園児の演奏発表などを実施 ▼その他 壇上から福豆をまく年男・年女などを募集(参加費5千円) ▼圃 同神社社務所 ☎554-5926

スポーツ

第10回行田市ソフトバ
レーボール親善交流大会

▼日時 2月19日(日)午前9時 ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼種目 混合一般、混合

第25回「未来へ残したい行田の自然八景」ウォークin石田堤と堀切橋(忍川)周辺 ▼日時 2月19日(日)午前9時～11時(雨天中止) ▼集合場所 さきたま古墳公園旧レストハウス ▼内容 郷土の歴史と自然を楽しみながらウォーキングをする ▼参加無料 ▼持ち物 持っている方は双眼鏡(7～8倍) ▼主催 みどりのぎょうだネットワーク ▼その他 汚れてもよい動きやすい服装で参加ください。 ▼圃 行田さくら5ロータリークラブ ☎564-3000

ボランティアカフェ

▼日時 1月29日(日)午前11時～午後1時 ▼場所 コミュニティセンターみずしろギャラリー ▼内容 ボランティアグループによるステージ発表、各団体によるPR、豚汁の配布 ▼参加無料 ▼圃 行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

児童センター
豆まき会

▼日時 1月29日(日)午前10時～

講座・講演会・教室

上級救命講習会

▼日時 2月19日(日)午前8時45分〜午後5時30分 ▼場所 消防本部第3会議室 ▼内容 心肺蘇生法(成人・小児・乳児)、異物除去法、AEDの取り扱い方法、傷病者管理法、外傷の手当て要領などを取り入れた上級救命講習 ▼定員 20人(先着順) ▼参加無料 ▼その他 昼食を持参してください。 ▼申・問 1月20日(金)から直接または電話で消防署救急担当 ☎550-2123

埼玉県地震対策セミナー

▼日時 2月9日(木)午後1時30分〜4時(午後0時30分開場) ▼場所 さいたま市文化センター大ホール(さいたま市南区根岸1-7-1) ▼内容 ①近藤久禎さん(厚生労働省DMAT事務局次長)による講演「DMAT(災害医療派遣チーム)の活動を通して考える震災対策について」 ②永田宏和さん

児童センター

将棋クラブ員(上級)

▼日時 1月21日〜3月25日の毎週土曜日※祝日を除く(全9回) 午前10時〜11時30分 ▼場所 コミュニティセンターみずしろ ▼内容 将棋の技術向上を図る ▼対象 小学3年生以上 ▼定員 20人(先着順) ▼参加無料 ▼申・問 1月14日(土)までに児童センター ☎554-5706



高齢者マージャン教室・実践コース

▼日時 1月21日・28日、2月4日・18日・25日の土曜日(全5回) 午前9時30分〜正午 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第1研修室 ▼内容 マージャン打ちを通じ、点数計算などを実践する。 ▼対象 市内在住でおおむね65歳以上の方 ▼定員 24人(先着順) ▼申・問 1月17日(火)午前9時から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

ん(NPO法人)プラスアーツ理事長)による講演「子どもから大人まで楽しみながら学べる防災について」 ▼定員 1千人(先着順) ▼入場無料 ▼その他 防災関連企業・団体の展示ブース、地震に関する資料の展示・説明、建築職員による無料耐震診断、大学生ボランティア団体による東北復興支援活動の報告などを同時開催 ▼申 埼玉県地震対策セミナー実行委員会事務局(県危機管理課内) ☎048-830-8141

NPO法人の作り方 設立基礎講習会 in 春日部

▼日時 1月26日(木)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 春日部地方庁舎3階大会議室(春日部市大沼1-76) ▼対象 「NPOを作りたいので教えてほしい」「NPO法人がどんな活動をしているか知りたい」という方など ▼参加無料 ▼その他 講習会終了後に設立に関する個別相談あり ▼申・問 1月13日(金)までに電話で利根地域振興センター ☎555-1110

第39回事業所 人権教育研修会

▼日時 1月18日(水)午後2時〜3時30分 ▼場所 中央公民館 第1学習室(「みらい」内) ▼内容 『行田市障がい者ネットワーク「ハッピーぎょうだ」渡辺真一さん(社会福祉法人健康翔会)、木村浩章さん(NPO法人C-11ひこせん)による講演 ▼対象 市内の事業主および人事担当の方 ▼定員 60人 ▼参加無料 ▼申・問 人権推進課(内線221)

「学校、家庭の境界と地域の可能性」を語る人権教育講演会

▼日時 1月15日(日)午後1時30分〜3時 ▼場所 佐間公民館 ▼演題 「学校、家庭の境界と地域の可能性」少年事件の取材から」 ▼講師 吉田俊一さん(株)埼玉新聞社編集局長 ▼定員 100人 ▼入場無料 ▼共催 行田市佐間地区人権教育推進協議会、同館 ▼問 同館 ☎553-1478

ものづくり大学 特別公開講座

▼日時 2月22日(水)午後1時開演 ▼場所 パレスホテル大宮 4階ローム(さいたま市大宮区桜木町1-7-5) ▼内容 隈研吾さん(建築家・東京大学教授)による講演「デジタルファブリケーションー新国立競技場から未来のものづくりに向けて」 ▼定員 300人 ▼受講無料 ▼申 住所、氏名、電話番号を明記の上、2月10日(金)までにFAXで(公社)埼玉県経営者協会(FAX)048-641-0924 ▼問 ものづくり大学 ☎564-3895

相談

子育て談話室 「たんぽぽ」

▼日時 2月6日(月)午前10時〜11時30分 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」 ▼内容 子育て中の親同士で語らう、子育てワンポイントトーク「も

募集

自衛官等

自衛官候補生(男子)

▼試験日 1月15日(日)・16日(月) ▼対象 18歳以上27歳未満の方 ▼受付期間 随時

自衛官等採用の説明会

▼日時 1月15日(日)午前10時〜正午、午後1時〜3時 ▼場所 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所(熊谷市筑波3-90-1 国際ビル2階) ▼問 同事務所 ☎522-4855

(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 ... 申し込み・問い合わせ ... 産業文化会館 TEL.556-6371 FAX.556-6372 商工センター TEL.553-0510 FAX.553-2021 古代蓮会館 TEL.559-0770 FAX.559-0784 行グリーンアリーナ TEL.553-3377 FAX.553-0487 http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html

ハンギングバスケット

▼日時 2月5日(日)午後1時〜3時 ▼場所 古代蓮会館研修工作室 ▼内容 鉢植えを置くスペースが無い場所でも、壁を利用し空間装飾として楽しめるハ



商工センター 臨時休館のお知らせ

2月11日(土)・12日(日)は、全施設定期点検のため臨時休館となります。

広告

広告

忍藩士世川作之丞宛て妻りう書状

行田市郷土博物館所蔵

天保13年（1842）8月、江戸幕府は異国船の来航に備えるため、忍藩主松平忠国に江戸湾（現東京湾）の沿岸警備を命じた。房総半島の富津（千葉県富津市）から白子（同県南房総市）にかけての海岸のうち、佐貫藩（同県富津市）の領地を除いた場所が忍藩の管轄となりました。藩士たちは富津や竹ヶ岡（同県富津市）にあった陣屋に派遣され、ここから海岸の砲台や遠見番所（見張り小屋）に交代で詰めて警備に当たりました。

慣れない土地への赴任は、送り出す家族もさぞかし心配したことでしょうし、藩士も国元の家族に思いをめぐらしたことでしょう。その気持ちや互いの近況を伝えるため、忍と竹ヶ岡の間で頻りに書状を交わした藩士と家族がいました。世川作之丞とその家族で、1年間で実に37通もの書状が残されています。

写真の書状は天保14年5月16日付で、妻のりうから夫の作之丞に宛てたものです。女性らしい



世川りう書状

仮名書きの筆跡で、書き出しから「内々に私へ下さったお手紙を拝見しました。たびたび私の夢を見ていられることはありがたいく、本当に私もあなた様のことは朝夕忘れる暇なく、懐かしく思い暮しております。お酒を召し上がった時は、おおりう おりう」とお呼びなさって、皆さんが笑っているとのこと、勤番中の方は皆さんこのようなことが多いのもっともだと思えます。・」と夫への思いをつづっています。さらに、早くお目にかかりたい、酒もさかなも少しづつ召し上がって健康に気を付けるようにと夫を気遣う内容が記されています。

この書状は武家の女性が夫を思う気持ちを素直に表していますが、他の書状からも当時の武士とその家族の考え方や暮らし振りを知ることができます。これらの書状はまさに忍藩士と家族の「生の声」を伝える貴重な史料群であるといえます。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

特定非営利活動法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

かつて足袋の全国生産量の8割を占めていた行田。市の中心部には現在も数多くの足袋蔵が残されています。足袋作りで栄えた歴史を行田独自の「文化」ととらえ、足袋蔵を生かしたまちづくりに取り組んでいるのが「特定非営利活動法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク」です。

同法人は、平成16年に設立され現在43人で活動しています。足袋工場など古くからの建物を利用した「牧禎舎」や「足袋とくらしの博物館」などを運営する他、「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」、「アーツ&クラフツinぎょうだ」などのイベントも開催。地域の人に外からの視点を意識してもらい、足袋の文化に触れてもらう機会を提供している他、蔵を利用したい人とのマッチングや地縁によらない新たなコミュニティの形成を図っています。

「足袋というオンリーワンは、行田のまちにとって何物にも代え難い文化である」との熱い思いを胸に活動しています。

【代表理事】朽木 宏 【電話番号】552-1010

つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～①



「蔵めぐりガイドブック」を編集している様子

今月の表紙

12月10日、総合福祉会館「やすらぎの里」中庭で、三世交代交流「もちつき会」が行われました。

地域の子・親・高齢者が触れ合うことを目的に開催され、この日は25人が参加。周りの大人たちの「よいしょ!」という掛け声に合わせて、子供たちは慣れない手つきできねを振り下ろしていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をデジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361-1860 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116